新京日日新聞
夕刊
五月二十八日

よ う こ そ

我等が林陸相 昨夕國都入り

忠靈塔の參拜、要人の引見 眼の廻る多忙さ

林陸相一行は二十七日午後五時半着あじあで大連迄出迎へた西尾參謀長岩佐憲兵隊司令官、大野關東局總長、矢田滿洲國參議、八田滿鐵副總裁等と同車元氣で到着した、驛頭には南關東軍司令官以下軍幕僚、將校、谷參事官以下大使館員、滿洲國側張國務總理以下各部大臣、臧參議府議長以下各參議其他日滿官民代表等多數出迎へ貴賓室に小憩の後南軍司令官と同道宿所ヤマトホテルに入つた

林陸相車中談

廿七日午後五時半入京の林陸相を車中に出迎へれば、長途の旅行にも拘らず、聊かの疲勞の色もなく快く記者を引見左の如き一問一答をなした

記者　南軍司令官との會見には相當重要協議が行はれると注目されてゐるが主要項目はどんなものか

陸相　注目してゐるのは當り前だらう、別にこれはといふ主要題目がある譯ぢやない、すべての事柄について協議するよ

記者　日本の滿洲經濟開發方針は近頃變化して來たと言はれてゐるが如何

陸相　別に方針が變化したとは思はない、滿洲國も治安工作の時代は過ぎて文化工作の第二段階に入つたのだから之が基底たる經濟問題は當然再檢討の俎上にのせられる必要はあらう日滿經濟委員會の成立はこの意味で大いに期待される

記者　滿洲國內閣の更迭と關聯して日本の對滿國策變更を云爲する向があるが如何又新內閣の顏觸れに就ては

陸相　別に我が國の對滿國策が變化するとは思はない、從前の通りだ、閣員の顏觸れに就ては私の知る限りでは大いに結構だ、東京を發つ日の發表なので日本に於ける公人の新內閣に對する意見は何も聞いてゐない

記者　滿洲の經濟發展は都市と農村と比べてやはり跛行的だと謂はれてゐるが之の對策は

陸相　私も現在の滿洲を視察するには鐵道沿線から離れて內地に入つてみるのでなければ駄目だと思ふ永い日子があれば最前線の兵士達も全部見舞つてやりたいのだが殘念なことだ、兎に角今度の旅行は南軍司令官から現地の意見を全ての問題に就て伺ひ少しばかり見學させて貰ふのだ

忠靈塔に參拜 西尾參謀長の報告聽取

林陸相は隨員一行を從へて廿八日午前九時ヤマトホテルを出發、忠靈塔に向ひ懇ろに參拜の後軍司令部に至り司令部員一同の出迎裡に軍司令官室に入つて南軍司令官と會見、終つて西尾參謀長より一時間二十分に亙り諸般の狀況報告を審さに聽取の後十一時軍司令部を出門、張滿洲國々務總理を訪問の爲め國務院に向つた

皇帝陛下 陸相を主賓に賜餐

滿洲國皇帝陛下には二十八日正午宮廷府勤民樓賜餐殿において來京中の林陸軍大臣を始め日滿要人に對し午餐を賜つた、賜餐の光榮に浴した者は左の如くである

日本側
林陸相、永田軍務局長以下隨員、南軍司令官、西尾參謀長、板垣參謀副長、岩佐憲兵隊司令官、大木交通監督部長、軍司令部各課長、梶井軍醫部長、渡邊獸醫部長、津田海軍部司令官、大島參謀長、佐野少將、谷、守屋兩大使館參事官、大野關東局總長等

滿洲國側
張國務總理、鄭前總理、各部大臣、臧、筑紫參議府正副議長以下各參議、熙宮內府大臣、袁尚書府大臣、林最高法院長、李最高檢察廳長、榮中銀總裁、張侍從武官長、入江宮內次長、長岡總務廳長等

▽寫眞　昨夕新京驛着滿洲國張總理と挨拶交換の林陸相

國務院訪問

隣邦滿洲國訪歷中の林陸軍大臣は廿八日午前十一時十分、國務院を訪ひ張總理及び各部大臣並びに各參議と會談、一同記念撮影をなし同卅分退出自動車を通て宮內府に向つた

歡迎晩餐會

二十七日午後あじあで着京した林陸相は、午後六時三十分宿所ヤマトホテルを出發、軍司令官々邸に於る晩餐會に臨んだ、席上には南軍司令官を始め正副參謀長以下各課長、大使館よりは谷參事官以下各課長、關東局よりは大野總長以下各部課長等四十余名出席主客歡をつくして八時四十分宴を閉ぢた

新◇大◇臣◇に◇聽◇く　(四)

〃盟邦精鋭軍の援助により 國軍素質の向上を期す〃

軍政部大臣 于芷山上將

本日、林陸軍大臣を迎ふべく午前十一時まへに國務院に來つた于芷山上將をとらへ刺を通じて談話を乞ふた、どつしりした體格をゆすりながら、いかにも武將らしく朗らかに將軍は語つた

就任早々で、簡單に言ふほかないが、自分は友邦日本軍のすぐれたる點に學び、その援助を得てわが滿洲國々軍の素質を向上せしめることを以て眼目となして行きたい、御承知の如く由來滿洲、支那の軍隊といへば人間のよくない方のものの集りのやうに考へられて來た、これにはそうなつた原因もあつてのことであつたが、兎に角そのやうな狀態が大間違ひであることは極めて明瞭である、滿洲國が創建されて諸般の事情に變化をみたが、その中でも軍隊素質の上にもたらされた變化は大いに注目すべきものの一つであると言へると考へる、しかしながら勿論現狀にわれらは滿足することなくます／＼自重努力わが國軍の名に恥ぢない立派な國の衛りを完成したいと思ふ……

この談話のうち、續々と要人の來り繼ぐあり、記者は將軍に御迷惑をかけることをおそれて、それでは又…と申し出ると、將軍はうなづきながらぢや又何れ日を改めてゆつくり話さう

と親しい言葉であつた此談話を謝し他日を期して記者は辭去した、知らるゝ如く將軍は警察官出身で東北各要職を經て事變後獨立を宣言し建國の大業に活躍し大同元年奉天省警備司令官となつた、字を瀾波といふ堂々の武人である

滿洲國關稅の 第三次根本的改正

滿洲國政府に於ては過去二回に亙り關稅の改正を行ひ排日的色彩の除去を爲す一方日滿經濟ブロックの根本を破壞せざる限度に於て國內の幼稚なる產業保護に努めて來たが、何れも暫定的改正で第三次の根本的改正が早くも要望され日滿貿易上至大の關係を持つ大阪を始め各方面の陳情となつて現はれ、關係當局に於ても既に調查資料の蒐集研究が行はれてゐるが、來るべき改正に於ては日滿經濟の調整が品目別の關稅協定となつて具体化するものと見られてゐるが、滿洲國の課稅權の容認と日滿產業分野の確立が改正のための絕對要件と見られてゐる即ち

一、改正の結果は特殊のものを除き全面的な引下げとなり其の結果歲入の減收となりその代り財源が必然的に要請される結果在滿日本人課稅は好箇な財源として考慮されてゐる

一、日滿產業分野の現狀は分明を缺き關稅の改正に依り產業の分野を強行的に樹立して來た情勢にあつたが、これは本末を轉倒するも甚しく、產業分野の確立があつて初めて產業政策に寄與し得る關稅政策が實施し得られるものとの見解を持して研究が進められてゐる

以上の意味に於て第三次の根本的關稅改正は課稅權並に日滿間の產業分野確立を待つて行れるものと期待されてゐる

有吉駐支大使 西園寺公訪問

初代大使さし抱負を述ぶ

【東京國通】有吉大使は廿六日有野書記官を帶同して興津坐漁莊に西園寺公を訪問、初代大使就任の挨拶を爲したる後最近に於ける南京政府の對日政策の眞髓を率直に報告すると共に今後の對支政策根本方針に就き初代大使としての抱負を語り老公の諒解を求めたるに對し、老公は最近の日支關係の新展開に則し有吉大使の功績を讃へ初代大使の精進を切望し激勵するところあつた會見一時間にして有吉大使は坐漁莊を辭去、即日歸京した

園公訪問後 有吉大使語る

【東京國通】老公と會見後有吉大使は左の如く語つた

大使館昇格の挨拶に來たのだが四方八方の話が出て會見時間が長くなつた、支那の對日關係好轉には老公も非常に喜んで居られた、長い歷史があるので急激に變化するとも思はれないが最近支那の要路者が日本を諒解するに至つて昨年の今頃に比べると非常に好轉して來てゐる、七月一日關稅の引上げが行はれるがあれは財政の都合で轉口稅輸入稅補塡の爲に各國に對して一齊に行はれるもので別に排日貨的關係のあるものではない、又極く低率のもので取引上に大した影響があるものではない、財政の援助も條件次第だが今政府にそんな考へがある譯ではないから民間の經濟提携をする事が必要であると思ふ、日本でもそうだが國民性があり面目關係があるので餘り助けることは不成功に終らしめる事とならうから適當に善處する事が肝要ではないかと思ふ

山本條太郎氏 政友會を退く

勅選に推薦されん

【東京國通】山本條太郎氏は政友會の長老として政界に重きをなして居るが、最近健康勝れず又審議會に關し親交のある總理と政友會の板挾みとなり近く政界の第一線を離れ靜養する筈である、岡田首相は之を機會に多年山本氏が實業界と實政の爲め盡したことゝ滿鐵時代の滿鐵事業への功に酬ひんと貴族院議員に推薦することに決し、高橋、町田、床次諸長老も贊成なので七月末に實現される模樣である

山本氏語る

【東京國通】引退を傳へられる山本條太郎氏を訪へば左の如く語る

病氣が思はしくないので最近は毎日ラジウム療治をやつてゐるがラジウム療治はスエーデンが世界一だと聞いてゐるので今しばらく病勢を見た上どうしても日本では駄目だといふことになればスエーデンに行つて根本的に治療して來たいと思つてゐる

現在の我輩の心境は一切俗事から足を洗つて勿論勅選の交渉などは全く受けてゐない

今後の進退注目さる

【東京國通】山本條太郎氏は勅選に推薦された機會に一部で劃策中の新黨樹立運動に參加し、政友會同志を誘導すれば無論黨內で隱然たる勢力あるだけに政友會には大打擊だが、山本(條)氏は床次、內田、秋田等の諸氏を中心とする新黨計畫に對してはあまり好感を持たず、殊に床次氏の傘下に今更はせ參ずる意志なく、又黨人として晩節をけがしたくないと稱して居るから假令勅選になつたからとて黨を攪亂し政府の御用を勤める樣な無誠意な行動をとるとは思はれず、又自身黨籍を離れる樣な事もないのみか、同志を誘導する事もなく、黨內に動搖を來す樣な事はないと見られてゐる

貴衆兩院議員一行近く來京

藤沼、太田氏ら參加

前警視總監藤沼庄平氏並に衆議院議員一行は豫定を變更し來る三十一日午後五時三十分奉天から新京着、大和ホテル投宿、一、二兩日滯在のうへ三日午前九時五十四分吉林へ向ふことになつた、一行の氏名は左の通り

貴族院議員　藤沼庄平氏
衆議院議員(海軍中將)　八角三郎
衆議院議員　太田正孝
同　木暮武太夫
同　助川啓四郎
同　船田中

東京商大教授　猪谷善一
なほ國政一新會より一名參加滿鐵からは高久審查役が案內して各地を視察する

貴院滿洲視察團 拜謁

一條實孝公を團長とする日本貴族院滿洲視察團一行八名は二十七日午前十時宮內府に參內皇帝陛下の謁見を賜り優渥なる御言葉を賜つた、尚一行は二十八日午前九時二十分發京賓線でハルビンに向つた

シャム議員團一行 昨日午後來京

滿洲國視察のシャム代議士一行十七名は二十七日午後二時着列車で來京直ちに大和ホテルに投宿したが一行の大半は殆ど三十歲そこ／＼の青年議員達ではち切れそうな元氣である、民選議員チャロンラット氏は語る

今朝奉天に到着して直ちに新京に向つたが途中汽車の窓から見る滿洲は廣漠たる平野が限りなく擴がり農作物が青々として肥沃な土地であることを感じた、我々一行は今回政府より東亞諸國の視察を命ぜられ特に新興滿洲國に對しては非常な興味を持つてやつて來た、最近までシャム一般民衆は勿論上層知識階級も政治問題に關して餘り關心を持てなかつたし滿洲國が建設されても別に興味を持つてゐないし滿洲國に關する知識としては何もない樣な有樣だ、我々を政府が派遣したのは滿洲を廣くシャム國民に紹介させるためで我々は此の點から出來るだけ詳細に滿洲國の各方面を視察して自國一般民衆に知らせる積りだ

支那全國の外國米輸入 昨年の二倍

【南京二十七日發國通】本年一月以降四月までの支那全國の外國米輸入高は六百八十九萬餘ピクル、四千八百十一萬餘元で昨年同期の約二倍に達した、農業國として廣大な耕地を有する支那國民の主食たる米の大量輸入は奇異の感があるが右の原因は昨年度の全國的旱魃と水災並に地方農民が軍閥の搾取、匪賊の横行に惱んだ結果離農して遊民化する者が非常に多くなつた爲である

躍騰の米英クロス 二十三日反落

【東京國通】フラン貨の動搖を主因として連日躍騰せる米英クロスは廿六日入電に依れば四弗九十四仙四分の一と二仙四分の三方反落したが、右原因はフランス銀行利上げに依るものと見る向もあるが、爲替銀行筋では同日の米英クロスが四弗九十五仙八分の三と逆に四分の三仙高を示したのにロンドン金塊相場は七磅二志丁度と六片高となり、之をニューヨーク金買上げ値段から算出した米英クロスは四弗九十二仙九十五となるので之に鞘寄せすべく訂正が行はれた爲であると見てゐる

坂田財政部 文書科長着任

財政部文書科長に榮轉の前奉天稅務監督署副署長坂田純雄氏は廿七日あじあにて着任した

新舊國都建設局長 事務引繼

新舊國都建設局長鄭、阮兩氏の事務引繼は二十八日午前十時より局長室に於て行はれた

人事往來

▲奉天へ
▲五十嵐房吉氏(大東公司社長)同天津へ
▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)二十七日午後來京
▲宇佐美寛爾氏(鐵路總局長)同
▲河本大作氏(滿鐵理事)同
▲一條實孝公(貴族院議員)二十八日午前發ハルビンへ
▲鍜島康吉氏(琿春貿易商)二十七日午後來京名古屋ホテル投宿
▲門廣謙吾氏(同)同
▲高松佐平氏(同雜貨商)同
▲今枝喜市氏(三江省鳳山縣警務局警務指導官)同
▲永田鐵山氏(陸軍省軍務局長)同
▲山內靜夫氏(電々會社總裁)同
▲渡邊信氏(大阪中山太陽堂員)二十七日午後來京ヤマトホテル投宿
▲阿部鶴之輔氏(東京獨立通信社員)同
▲白井喜一氏(奉天鐵道事務所長)同
▲有末精三氏(陸軍大臣秘書官)同
▲横溝光輝氏(對滿事務局事務官)同
▲小金茂照氏(商工省事務官)同
▲片柏貞夫子(貴族院議員)二十八日午前發ハルビンへ
▲井上勝純子(同)同
▲肝付兼美男(同)同
▲水野忠武男(同)同
▲油井鶴藏氏(同)同
▲田中徳兵衛氏(同)同
▲近藤美明氏(同書記官)同
▲芳賀千代太氏(ハルビン鐵路局運輸處長)同
▲西尾中將(關東軍參謀長)同歸京
▲矢田七太郎氏(滿洲國參議)同
▲原田大佐(關東軍第二課長)同
▲岩佐少將(關東憲兵隊司令官)同
▲于琛澂氏(第四軍管區司令官)同
▲坂田純雄氏(財政部文書科長)同
▲梅津中將(北支那駐屯軍司令官)同
▲孫其昌氏(財政部大臣)同
▲永井哲夫氏(同關稅科長)同
▲草間秀雄氏(滿洲採金會社理事長)二十八日午前

團體

▲南滿中學堂生五十二名二十八日午後三時引返來京二十九日午前七時十分發南行
▲佐世保商業學生第五學年八十名二十八日午前六時四十分來京旭ホテル投宿二十九日午後四時發南行
▲鞍山中學生四十七名二十八日午前六時四十分來京愛國旅館投宿二十九日午前九時二十分發ハルビンへ
▲平壤光成高等普學生五十二名二十八日午後二時來京同二時四十分發ハルビンへ三十日午前六時二十五分引返來京三十一日午前十時十分發南行
▲貴族院議員滿洲視察團十名二十八日午前九時二十分發ハルビンへ
▲京城師範普通科生百名二十八日午後四時發南行
▲京城師範演習科生九十三名二十八日午前六時四十分來京同九時二十分發ハルビンへ三十日午前六時二十五分引返來京
▲廣島縣會議員二十五名二十八日午前九時二十分發ハルビンへ三十日午後七時二十五分引返來京同十一時發南行
▲平壤公立中學生百三十二名二十八日午後三時引返來京同四時發南行
▲京都平安高等女學生三十五名二十八日午前六時四十分來京太陽ホテル投宿二十九日午前十時十分發南行
▲福岡縣教育視察團三十七名二十八日午前六時二十五分來京蒙古旅館投宿廿九日吉林往復同日午後四時發南行
▲門司商業學生百名二十九日午前七時三十五分來京旭ホテル投宿三十日午前十時十分發南行
▲佐賀商業學生七十七名二十九日午前二時四十分來京同日午後四時發南行
▲長崎教育會視察團十五名二十九日午後九時來京愛國旅館投宿三十日午後二時五十分發吉林へ三十一日午前九時引返來京
▲安東高等女學生六十九名二十九日午前七時三十五分來京同九時二十分發南行三十一日午後三時引返來京同十時發南行
▲金州農主催團十四名二十九日午後二時來京新京ホテル投宿卅一日午前九時發南行
▲福岡縣田川郡[illegible]二十名二十九日午前六時三十分來京太陽ホテル投宿三十日吉林往復

オリムピック東京招致に 滿洲國内から反對
"滿洲國が參加出來ず" アジアに於ける帝國の威信如何

千九百四十年度における第十二回オリムピック開催にあたり、大日本体育協會を始め文部省を主体とする開催地東京招致運動は過ぐる三月オスヒウにおいて開かれたオリムピック定例委員會においてはしなくも北歐諸國の經濟上の問題から東京招致案に對する反對運動起り遂にその採決は明年伯林において開かれるオリムピック委員總會にまで保留されることゝなり、その結果日本における体育關係各機關は殘る一ケ年を更に大々的運動と宣傳により飽くまで東京誘致の初志を貫徹すべく意氣込んでゐるが、右情勢に對し滿洲國における國民体育同志會においては、日本が主催權を獲得した場合におけるオリムピック委員會の當然遭遇すべき矛盾を豫想し東京招致運動反對趣意書を作成して二十八日大滿洲帝國体育聯盟南滿洲陸上競技協會、滿洲体育協會其の他の各機關宛送附東京招致の反對運動を開始することになつた、右趣意書の内容は

一、東京招致運動の經過
二、招致運動は帝國の對滿政策根幹を過る
三、アジアにおける帝國の威信を如何にすかる
四、オリムピックはローマに返せ
五、結論

よりなつてゐる

またも軍用路に三人組强盗現る
計畫的の犯行らしい

通り魔の如く附屬地附近を荒す六人組の强盗未だ縛につかず人心恟々たるおりから二十七日午後九時十五分頃嚴重なる警戒網を突破し寛城子路切り先軍用路佐藤孟（三一）有賀明（二四）方にモーゼル及びブローニング拳銃を所持せる三人組强盗が押し入り家人を全部一室に閉じ込め拳銃を擬して脅迫し家内を隈なく捜査佐藤氏のタバン金側懐中時計鎖付時價七十圓、男円黑皮蟇口在中金三圓五十錢、茶色ハンドバッグ一個女持二折財布二個在中金三十三圓、置時計一個時價十圓、萬年筆一本時價二圓、有賀氏所有の紺色オーヴァー一着時價三十二圓を强奪寛城子方面に逃走した屆出により新京署、領事館署長通路署より係官現場に急行徹宵捜査につとめたが更に手がかりなかつた、家人の話を聞くに二十七日午前八時頃一支那人が同家附近を徘徊しては家内をのぞき込み不審に思つてゐたところ午後九時頃突如三人組で這入つて來て金品を强奪して行つたが内一人は朝附近を徘徊してゐた男に相違なく晝間より計畫して夜陰に乗じ襲撃したものと見られ手口其他から見て賊は義和屯の日本人宅を襲つたのと同一のものと見られてゐる

國庫財産會計檢査 檢査官一行來京

會計檢査官津屋幸右衛門、同關正美、屬官奥平寛三郎、會議隨伴者經理部會計部長、長山七治同主計補員福岡一氏の一行は來る十八日錦縣から着京、二十三日まで滯在のうへ大使館、關東局、朝鮮總督府出張所郵便局、滿鐵、東拓につき、それぞれ會計檢査をなし、二十四日新京發京圖線を經て京城に向ふ豫定

寫眞說明 （上）軍司令官々邸における晩餐會記念撮影と（下）忠靈塔参拜の林陸相

危い！天然痘患者 隔離所から逃走
汽車で南行中捕はる

附屬地内の天然痘患者は二十五日以後新患者出ず二十八日現在の患者數は十五名であるが廿五日眞性天然痘と診定された市内住吉町九丁目四東亞土木會社使用滿人彼海明（二〇）は滿鐵分院に隔離加療中二十七日午後三時頃から同五時までの間に隙をうかがつて病院を逃げ出し新京驛より乗車南行中劉房子附近にて發見され直ちに彼を下車せしめ滿洲國側に引渡したが列車は大消毒を施すやら大騒ぎであつた

店頭裝飾競技會投票 明朝九時締切り
未投票は速かに本紙用紙で

滿洲電氣協會主催第五回全新京ショーウヰンド裝飾競技會は日滿參加店六十二店の大多數に上り參加店何れも誘客技術を凝らす裝飾は逐年發達し殊に本年は格段の進歩を示しこれが入賞を詮衡する專門家揃ひの審査員は數次各店頭を巡覽し嚴正なる採點中にあるが愈よ明二十九日決定午後一時から新京電業局階下會議室でこれが發表ならびに賞品授與式が擧行せらるることゝなつたこれが入賞發表は一般より多大の興味を以つて迎へられてゐる入賞店豫想投票は本紙二十七日迄の夕刊紙上刷込の規定用紙に依り輸入組合前及新京電業公司同城内營業所の投票函に續々と投票されつゝあり前年の總數三千七百餘票に對し本年は非常な多數に上る見込みであり明二十九日午前九時に締切り三十日朝迄に審査決定同日本紙上に發表の豫定であるが之亦多大の期待を以て迎へられてゐる

僞滿洲國官吏

本籍奈良縣北葛郡生れ高木政雄（二五）は二十四日午後十一時頃民政部官吏を裝ひ入舟町三丁目京圖寮ボーイ室より家内に侵入し野中四郎氏所有の茶色背廣三ッ揃一着時價六十圓を窃取し吉野町二丁目附近を徘徊中を新京署谷本刑事が捕へた

前科二犯 またも詐欺

詐欺前科二犯本籍大分縣現住所市内三笠町四丁目藤野勉（三五）は昨年頃より市内各所に亘り詐欺を働き其額數百圓に上つてゐるが藤野は持つて生れた口のうまいところより其都度其筋をうまく言ひ拔け今日に至つてゐるが度重なる惡事に被害者も勘忍袋の緒を切らし遂に警察沙汰となり二十八日留置場入りとなつた

建築材料を盗む

二十七日午後三時頃百斤入釘樽三個電線一巻を荷馬車にて城内五馬路某滿人方に賣却してゐるを新京署井上刑事の一隊が擧動不審とにらみ本署に連行取調べると此者は奉天省生れ住所不定王鳳山（二五）で釘樽と電線は興安大路四〇二號安坂支店倉庫内に侵入窃取したことを自白したが尙峻烈に追及したところ王は本年四月末福昌公司三馬路倉庫内に保管中のスコップ約三百挺其他建築材料を多數窃取したことをも自白したが解氷期頃頻々として建築材料の盗難あり當局にて犯人逮捕に苦心中であつたが犯行は全部王の仕業と判明その被害額は數千圓に上つてゐる

質屋荒し捕はる

本籍蓋平縣熊岳城頭台子住所許家屯龍門街十三質屋玉會春方店員張百衡（二〇）は本月廿日午前一時頃店主の隙をうかがひ現金五十圓、金指輪六個、耳輪一個時價百三十圓を窃取逃走、屆出により瓦房署で各地に犯人逮捕の手配中二十八日午前十時頃犯人張が新京鐵道北滿鐵關庫勤務滿人陳某方に潜伏中を新京署孫巡捕が逮捕した

寝室から盗む

二十八日午前二時頃より同五時頃までの間に市内浪速町二丁目八ノ二内屋電氣商會田頭寅吉氏の寝室に何者か忍び込み壁にかけてゐたバンド付セーターのポケットに入れてあつた鮮銀紙幣國幣とりまぜて二百二十三圓、枕元にあたクローム腕時計一個、大通電車回數券を窃取しセーターは裏庭に投棄してゐたのを午前六時頃發見新京署に屆け出た

州内外陸上對抗 州外勝つ

州內、州外對抗陸上競技大會は廿六日奉天國際運動場で花々しく擧行されたが雨上りのグランドで好記錄を見なかつた兩軍奮戰の結果百六十六點對百五十六點で州外に凱歌を奏した、なほ本大會に新京から出場した于選手は八百メートル一着二分十四分六、同千五百メートル一着四分三十五秒二、直井選手四百メートル五着、柴田選手巾跳第二位六メートル一七、三段跳第三位十三メートル二〇であつた、特に于選手の活躍は目覺しいものがあつた

西村、山岸惜敗

【オートイユ廿六日發國通】全佛庭球選手權大會廿六日のシングルス第二回戰に於て我が西村選手は佛の强豪ベルナール選手と對戰善戰の後左のスコアーで敗退した

ベルナール 6-1 4-6 8-6 6-3 西村

尙山岸選手はユーゴースラビアのナンバーワン、プンチェック選手と對戰したが遂に敗れた

プンチェック 0-6 9-7 6-1 6-2 山岸

仙人掌

バーマスコットのリラ子、若鮎のやうにピチピチと狭いホールを泳いでゐます▲「あたし本牧よ」と口癖のやうにいひます、それもその筈濱で可愛いヽヨタモンを坊やにしてゐたほどの彼女新京の男はチト物足りないらしい▲誰か新京の名譽のためにリラ子と取り組んで下さい、然し投げられても責任はもちません

天氣と氣温

明日の天氣 西の風
日の出 午前四時一分
日の入 午後七時十一分
月の出 午前一時卅七分
月の入 午後三時五十五分
けふの氣温 最高 廿九度六 最低 十五度七

街の日記

記念公會堂理事會

記念公會堂理事會は二十四日午後四時から川村理事長以下十三名出席の下に開催喫煙室および食堂增改築のほか左の諸件を可決した
一、講室の兩側に各三十二坪十五坪の喫煙室二棟、食堂の增築―總工費二萬六千圓
二、特別器具使用料制定
（イ）グランドピアノ甲五圓、乙八圓、丙十圓
（ロ）照明器一基甲一圓五十錢、乙二圓、丙二圓五十錢
（ハ）椅子卓子飄館外持出椅子一脚五錢、卓子同十錢
なほ籍田理事の死去による欠員補充の件は保留され六時散會した

吉林娘々祭に記者團招待

二十九日、三十日、三十一日の兩三日吉林北山で催される娘娘祭は鐵路局協和會など後援のもとに盛り澤山の催しものがあり人出を豫想されてゐる、新京鐵路局では當日の盛會情況報導のため在京新聞記者を三十日北山に招待する

廣島縣人會 縣議一行歡迎

廣島縣議一行は二十七日午後十時三十分着、二十八日滯在二十九日午前九時二十分新京發哈爾濱に向ひ三十日午後七時二十五分引返し同十一時發奉天へ向ふ豫定だが、同縣人會では二十八日午後七時から大陸春で一行歡迎會を開催するはずで多數參會を希望してゐる

宇野公費主任着任

新京地方事務所地方係公費主任として本社地方課から轉勤の宇野太郎氏は二十七日着任前任の瓦房店地方事務所地方係長三浦一義氏は事務引繼を終つて三十日午後八時發家族同伴赴任の豫定である

小野寺氏轉居

新京地方事務所庶務主任小野寺兵右衛門氏は露月町一丁目から常盤町二丁目十八ノ二に轉居

寄附

元新京鐵道事務所長芳賀千代太氏は今回ハルビン鐵路局へ轉勤に際し西廣場小學校に子弟在學記念として金十圓を同校父兄會に寄附した

けふの銀相場

國幣對金票 一〇三・二〇
鈔票對金票 一二六・〇〇
國幣對鈔票 八一・四〇
現大洋對鈔票 一二八・〇〇

新撰爆笑隊

（上映禁止）（上演禁止）　辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇 九七

避暑の惱み（四）

蓄音器を抵當に避暑──これが首尾よく成功すれば當分はお別れと、その夜レコードがどの位目を廻して忙しかつたかは想像されるであらう。

實は日のかげ、夜は月のかげ見れば見る程、なは可愛い
え、好きで一緒になつたのよ
苦勞は覺悟の上なのよ

縣の松原、松葉ぢやないが死ぬも生きるも、二人づれ
ええ好きで一緒になつたのよ
苦勞は覺悟の上なのよ

作老人は──老人といつてもまだ五十代だが、白髪が多いので社員東京商事會社の庶務課長黑田平

「僕も昨夜ちやきいてたが、こんなに澤山レコードがあらうとは思はなかつた。これだけでも一時に揃へるとなつたら大變でせう」

「そりやもう、僕の家位な小作宅なら、このお金を貯めといたら、建つかも知れませんね。はは。」

「今度は唐人お吉を掛けて頂戴」

彼は何でも御座れ、お好み次第と御意の儘になつた。

おもひ出します、お吉の嘆も瀬の千鳥の、啼く音にさへも下田港の、下田港の黑船故に唄ふ涙の、あけがらすサイナ

縣の黑船、蛍よりうすい仇な情けの、一夜の夢よ
お吉可愛や、お吉可愛や
コンセル避ひ
貴陽の情緒、洗ひ髪、サイナ

一同感歎と表しての喝釆──脇坂夫妻がこれ程までに尖端的の人物と思はなかつたので、灰谷からの通勤圈を一人でも多くしたい爲に家まで世話してその一員に加へたのであつたが、平素の言動が彼の性質と可成り異つてゐるので、お互に敬遠し合つてゐた。

それに何と感ずつたのか、感覺家的脇坂が蓄音器携帶で彼の家を訪れ、お祝ひの筋があつて參上じたとの申入れであるが、一同に用件を切出す機もなく高等學校受驗失敗の件や女學生の娘を相手に、それからそれとレコードの披露をしてやつて悦ばせた。

「素敵ね、脇坂さん、この蓄音器隨分したでせう。」

「いや、大したことはありませんがね、僕が前の會社で△臨の賞與を投出して買つたんです。トテモ今ぢや買はうたつて及びもつきませんけど……」

先日のが意外に少なかつたことをちよつぴり匂はせて、そろそろ伏線を張出した。

「そんなのはもう古いや。むしろ浦和の女學生なんかには恰度頃合ひ加減かも知れないナ」

「どうせさうでせうよ。お兄さんみたいな不良には、園部のカフエといふ結構な場所がありますからね。」

「不良とは何だ。」

「不良だから不良つていふのに何が惡いの……だから入學試驗に落つこちるのよ。」

「此奴、生意氣いふとぶん毆るぞ。」意外な局面展開で、兄弟喧嘩が始まりさうな形勢である。

「兄さんもお嬢さんも、靜かに……お父さんに叱られますよ──今度は僕の所で一番新しい、買たてのほやほやつて奴をお耳に入れますから仲よく謹聽して下さい──只今から西條八十先生作詞、佐々紅華先生作曲、新小唄銀座セレナーデを放送致します。最初は三味線小唄調で唄は二三吉さん、三味線は豐吉さん──何れも歐陂でございます……」

ラヂオ

廿九日（水）新京

午前之部

六、〇〇　建國體操（滿語）
六、一五　ラヂオ體操（大連）
引續き　入港船の御知らせ（大連）
六、三〇　初等滿語講座（大連）講師　秋父岡太郎
七、〇〇　初等日語講座（奉天）講師　近藤　専助
七、二二　朝の音樂（大連）
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（大連）
一〇、二〇　經濟市況（東京）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
〇、二〇　ニュース（滿語）
〇、三〇　建國體操（滿語）
〇、五〇　ニュース
二、〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二、二〇　成人講座（滿語）
關於日滿華之協和與大亞細亞主義（第八講）（奉天）
醒時報館社長　張　樹森
二、四〇　演藝（レコード）（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三・三〇　經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇　ニュース（鮮語）
四、三〇　ニュース（鮮語）
四・四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（大連）
獨唱とピアノ獨奏
獨唱　岡安　靖子
ピアノ　村岡天津子
一、獨唱
（イ）露路の細道
（ロ）俵はごろごろ
（ハ）お月さん
（ニ）からくり
（ホ）お人形
二、ピアノ獨奏
木の兵隊行進曲
三、獨唱
（イ）すみれ
（ロ）大工の歌
（ハ）少年團行進曲
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　國民防空講座「第二講」空襲と防空監視　高木　正枝
七、〇〇　各地田植歌
一、（仙臺）田植ばやし
二、（前橋）田植歌
　太鼓　加藤　三作
　鈴　佐藤　清
　尺八　大里　萬歲
　三味線　荒川　萬歲
　唄　横山　盛衛
　群馬縣佐波郡蓮村字上植木　井野由三郎　矢島　つる　外
三、（名古屋）田植唄 ＝瀨戸市赤津＝
　藤井ゆり子　加藤つわ　松原ふじ江　中島たつ　笛・大鼓　外
四、（松江）高木田植歌
　唄　須藤　政男
　同　加納和三郎
　同　平井　熏
　三味線　加納和太郎
　同　平井　岡悦
七、二〇　舞臺劇（東京）
＝ざんぎり狂言の研究＝
霜夜鐘十字辻　河竹默阿彌作
安泊丹波屋の場
解說　河竹　繁俊
配役
六浦正三郎　喜多村緑郎
按摩宗庵　小堀　誠
杉田熏　藤村　秀夫
古鐵買泥藏　菊波正之助
女義太夫おとよ　村田　式部
角彫師鈍齋　南　一郎
娘お竹　瀨戸日出夫
丹波屋お熊　吉永豐次郎
口入婆お百　雪岡光次郎
義太八　武村　新
左三六　梅田　重朝
他に義太夫及鳴物等
八、一〇　連續ラヂオ小說（東京）
（放送文藝懸賞當選作）
索　馬　行（二）
長谷川更生作
市川小太夫
音樂擬音等　外
八、三〇　時報、ニュース（東京）引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況
九、〇〇　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　古　樂
滿洲國國樂社演員
一、梅花三弄　二、進行曲
三、香絲影　四、漁翁樂
五、小青山　六、世外桃源
九、三〇（大連）
一、相　聲　王　永　盛　外
二、戯劇清唱
（イ）宇　宙　鋒
唱　王　永　盛
（ロ）法　門　寺
胡琴　徐　馥　之
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）
ルツラーノフ
一、講　演
往年を顧みて
二、レコード
三、ニュース

大連より　長崎鹿兒島行
—九州への最短連絡航路—（毎十日目出帆）
千歲丸
大連發　五月三十日午前十一時（九番バースより出帆）
長崎着　六月一日正午
鹿兒島着　六月二日午前十時

	長崎	鹿兒島
一等	三二圓	三八圓
三等甲 寢臺室	一七圓	二〇圓
廣間室 ソーファ附	一五圓	一八圓
廣島室	一四圓	一七圓
三等乙	一二圓	一五圓

近海郵船代理店
日本郵船大連出張所

五月二十九日　水曜　乙巳　赤口　建　軫宿
四月二十七日

● 一白の人　心を輕く持ちて洗まぬ様にすべし世話事兒丙と丁と丑が吉
● 二黑の人　入りて善く出てゝも赤吉き幸福なる日なり甲と乙と辛が吉
● 三碧の人　至極結構なる日急がずとも思ふ所に達せん丙と丁と丑が吉
● 四綠の人　油斷すれば幸運の神に逃げらるゝことあり丁と乾と丑が吉
● 五黃の人　結算を見れば思ひしよりも得る所の多き日乙と庚と辛が吉
● 六白の人　人の事に口を出さず家業を大切と勵むべし巽と庚と辛が吉
● 七赤の人　山又山を越ゆるが如き苦みの起る注意の日甲と乙と巳が吉
● 八白の人　實力を以て爲ることは難事と見えても成る卯と庚と辛が吉
● 九紫の人　六ケ敷き日なれども眞實なれば吉に向はん庚と癸と丑が吉

新京の木材ストック 一千二百余車
價格は上向の一方

新京建築工事界も漸次白熱的活氣を呈しつゝあるが本年は降雪少かつたこと各河川の減少等に依り建築の主要材料たる木材の搬出意の如くならず新京を初め奉天大連等主要の都市に於ける木材消費市場に於ては早くも品がすれを招致するとの懸念强くその爲に價格も國幣價の下落を見るに拘はらず更に上向の情勢にある

新京木材界の情況としては安東材の拂底で殆んど現物を見ず吉林材も地元消費が多いので之れ又例年より着荷不活潑で敦化材及び北滿材が新京木材界の需要を滿たしてゐる、尚目下の新京に於ける木材ストック、數量は各種各材を合して約一千二百車と目されてゐる

株式界大變調
材料度外視もので恢復望み薄

【東京國通】株式界に於ける常期初め以來の賣人氣は實に執拗を極め、漸次その度を深め兩三日來一段と激化して全くの瓦落相場を展開するに至つたが、廿七日の如きは更に强硬的人氣と化し之に乘ずる軟派の追擊から投値又投値の慘澹たる崩落振りを演ずるに至り、殊に値嵩株は次々と新安値に叩き込まれ殆んど底拔け的落下を續けた、短期新東は再度百四十圓臺を割り込んで卅八圓臺に陷落し、又紡績株は鐘紡の廿圓臺割れを始め一齊に投げくづれ其他人絹株日產、鋼管等も落調熄まず日產の如きは昭和八年三月以來の安値に奔落する有樣であつた、尤も新東その他離株は後場に至つて小反撥を呈したがこの變調は材料度外視のものだけに當分恢復望み薄の如くである

代用燃料にアルコール
藏相燃料國策上より鋭意研究

【東京國通】最近に於ける動力革命及び自動車運輸の發展に伴ひ日本の原油及び重油輸入量は激增傾向を

辿り

昭和九年度には遂に一億二千四百萬圓に達してゐる、之は燃料國策上は勿論のこと國際貸借の將來に關する重大なる問題となつてゐるが、高橋藏相は最近この國策及び財政の觀點からガソリン輸入增加對策の爲代用燃料にアルコールを利用し得ることに着目し大藏事務當局に命じてその具體策を調査させて居る、藏相の腹案に依れば既にフランス、イタリーに於て實施されてゐるガソリンに對するアルコールの代用使用强制を斷行したガソリン消費量の約一割見當をアルコールに轉換せしめ現在年六百萬石に達するガソリン消費量の內六十萬石迄をアルコールを以て代用せしめやうといふのである、之が全國的統制に成功すれば現在十萬石內外に相當するアルコール生產量を五倍乃至六倍に增加せしめ得るのでその原料として植物性過剩農產物を利用すれば農產物價格の引上げ國際貸借の改善更に燃料國策强化を實現することが

出來

るといふ一石三鳥の案であつて大體の見透しを得れば關係各省と協議を進めアルコールの强制使用に關する案を來議會に提出する方針である

春繭相場の目標決定

【沼津國通】本年の春繭相場も大体沼津市場の初手合で繭價の目標は決定した、沼津市場の繭價は御祝儀氣分が加味されてゐる嫌もあるが目先的に見て春繭價は買馴れ平均で今後とも四圓を下ることはあるまいと觀られてゐる、本日の取引値段より觀ると黃繭が前年より買馴れで二圓十九錢高、白繭が買馴れで一圓九十二錢高であり兩者を平均してみると前年より二圓餘高に當る

右繭價より本年の養蠶家の春繭賣却による懷具合を推算すると平年の春繭出廻りを五千萬貫と觀て本年を七分減とすれば大体四千六百五十萬貫であり、旁々此繭價による養蠶家の收入を推算すると前年より約九千三百萬圓の增收となる

初繭取引
昨年より非常な高値

【沼津國通】廿七日の初繭取引最初の出來値四圓六十一錢は前年の二圓六十六錢に比し一圓九十五錢の高値で次の呼値も黃繭白繭共四圓臺を下つたものなく、本年は昨年に比し一般に非常な高値である

日ソ漁業條約
改訂交涉愈々近く開始

【東京國通】廿七日駐ソ大田大使より外務省への公電によれば大使は廣田外相の訓電に從ひ廿六日外務人民委員部にストモニヤコフ次長を

訪問

現行日ソ漁業條約第十五條を改訂するに關して日本政府の意嚮を文書を以て正式に提出し速かに改訂交涉を開始すべき旨要請した、ストモニヤコフ次長は右に對し漁業條約改訂に關する日本側の意嚮は充分に諒解した通告の受理並に改訂交涉開始に關しては政府當局と更に協議を行ふ必要あり、速答し兼ねる旨を述べ、大田、ストモニヤコフ會見を終了したが日ソ漁業條約改訂交涉は愈々近くモスクワに於て開始さるべきものと期待される

而して右交涉に於て日本側は漁區の安定、經營の合理化、漁族の保護を三大主眼とし日ソ兩國の實利を考慮し之を適當に調整し北洋漁業權利確保のため最善の努力を致す筈で廣田外相は正式に改訂交涉の開始されるに先立ち補足協定締結を中心とする日本の根本方針內容に關し近く閣議の

承認

を得て國內手續きの最後整備を行ふと共に大田大使並に酒匂參事官を改訂交涉に對する正式代表に任命することゝなつた

自轉車輸出統制に
商工省乘出す

【東京國通】日本の自轉車輸出は輓近著しく發展し昭和九年には一千九百萬圓に達したので、海外に於ける情勢に鑑み商工省では輸出統制の必要を認め輸出組合法第九條に基き六月一日以後は日本自轉車輸出組合の地區內に於て自轉車の輸出を業とする者に對し左記四條に就き右輸出組合の定むる輸出取締り並に輸出數量及び輸出價格に關する制限に隨ふべき旨五月廿八日附官報を以て告示した

一、蘭領東印度
二、佛領印度、ビルマ、セイロン
三、マレイ聯邦、海峽植民地
四、ヒリッピン
（但し差當り價格統制のみ）

貿易顧問局
定員五名內定

【東京國通】商工省では貿易非常時に際し貿易行政事務改革のブレーン、トラストとして民間の最高權威を集めて貿易顧問局を設置することゝなつたが、定員五名の顧問候補としては安川雄之助、三宅川百太郎、南條金雄、井坂孝、兒玉謙次の諸氏が內定、町田商相の決濟を待つばかりとなつてゐる右顏觸れ中一、二變更を見るやも知れぬが、六月初旬には五名とも正式に任命され中旬には此劃期的ブレーン、トラストの第一次會議が開かれる運びとなつた

內地數社共同
新會社認可の方針
滿洲生保會社問題

【東京國通】新京に於ける日滿保險會社會議の結果により滿洲生命保險會社の實現は全く絕望となつたが、當初傳へられたる滿洲當局の計畫に一部變更をみて大連火災を母體とする一社に獨占せしめる事なく、損害保險業の特性たる再保險の點及び機會均等主義の建前から內地有力會社の數社を一團として新會社を設立の上現地當局に認可申請あればその申請に對し同樣これを許可する事に、方針を決定した模樣である

滿洲國に於ける關稅の話（三）

本邦に於ける關稅事務の執行機關に付て大体申述べましたから次に此の關稅事務を執行する上に付ての根據となる規定の方面を極く概略申上げます

嚢に申上げました通り關稅は租稅でありまして假令其の目的が國家の財政收入を圖り產業を助長し其の他窮局に於て國民全般の福祉を增進するに在りとは申せ苟くも事人民の財產權に影響するものでありますが故に他の租稅と同樣社會的心意である法律命令に依つて始めて賦課せらるるのであります、此の事は滿洲國は建國と共に早速其の國是の一としたのでありまして卽ち大同元年三月九日敎令第二號人權保證法第九條に依り「滿洲國人民は法令に依るに非ざれば如何なる名義に於ても課稅懲發罰款を命ぜらるることなし」と定めてあります然し乍ら關稅の問題は最高國策に關聯してゐる重大なる問題でもあり從來の慣行を急激に變更するのも其の影響するところが甚だ大でありますから大同元年三月九日敎令第三號「暫く、從前の法令を援用するの件」に依り一應舊海關時代の上海總稅務司の訓令其の他從來の習慣、慣行に依つて關稅事務を執行し其の國情に適合せざるものを逐次先づ改廢是正し然る後に漸々に關稅法とか關稅定率法とか云つた体系的法規の制定に進まうとしてゐるのであります此の方針の下に既に改廢是正を見たものの中重要なものは「稅關貨幣單位の改正」「轉口稅賦課の大改正」「オリヂナル、パス制度の廢止」其れから「關稅問題の基本的部門を爲す關稅率に付ては二回に亘つて暫定改正」であります、以上少しく說明を加へます

先づ「稅關貨幣單位の改正」に付て申上げますと從來稅關の貨幣單位は輸入稅は金單位（關平銀）建でありましたが其の換算上の不便尠からざるものあるに鑑み各般の資料を以て之に對し根本的檢討を試み先づ此等兩貨幣單位と國幣建との間に一金單位を國幣一、九五圓、一海關兩を國幣一、五六圓とする固定換算率を設定し大同二年四月十五日から實施して暫く其の各方面への影響を靜觀しました處が約三ケ月間の實施狀況頗る順調平穩で豫想以上の好成績を示したので同年七月愈完全な國幣建制度を實現すべく關稅法令中に金單位又は海關兩を以て規定せられた稅率、料率を國幣建に改正の旨敎令公布四月二十二日から之を實施するに至つたのであります

次に「轉口稅賦課の改正」に付て申上げますが轉口稅は前にも一寸申上げました樣に本來土貨が汽船で通商港間に輸送せらるる場合其の仕出通商港で賦課せらるる一種の關稅でありますが中華民國時代から繼承して來た實際上の取扱は右の場合の外尙松花江及黑龍江沿岸並に外國を通過して一稅關管轄區域に土貨の輸送を見る場合等に於ても本稅を賦課してゐた爲特に松、黑兩江に於ける輸送貨物に對して大なる負擔を加へてゐたのであります依つて本稅の賦課は前に申しました通り土貨が汽船で通商港間に送らるる場合に限定することとし昨年十一月二十二日から改正實施したのでありまして其の結果轉口稅收約百二十萬圓中松、黑兩江の分百十萬圓程度の減收となり實質的には轉口稅の廢止を見たのと殆ど逕庭のない狀態となりました

其の次は「オリヂナル、パス制度の廢止」でありますがオリヂナル、パス制度とは哈爾濱から松花江に積出さるる洋貨に付て貨主は豫め該貨が哈爾濱に到着した際其の輸入手續を了した稅關の發給に係る納稅濟證明書に依つて哈爾濱稅關のオリヂナル、パス（免稅濟書）を受けて置いて該貨を松花江に積出さうとする時稅關に之を提出し若し之を提出しないときは該積出洋貨に對し稅關は輸入稅を徵收するの制度であつて舊海關時代に蘇滿國境の密輸品に對する輸入稅の賦課を目的として創始されたものでありますが此の密輸は本邦の國境警備の充實、蘇聯の貿易管理、入出國取締其他の事由に因つて殆ど其の影を見ない樣になつたし他面一般善良な商民中輸入手續を完了した洋貨に付松花江積出の爲必要とする此のオリヂナル、パス下附申請の手續に習熟しない者があつて其の爲松花江積出の際再び輸入稅を徵收され所謂二重課稅の問題を惹起することが多々ありましたので昨年十一月此の制度を廢止したのであります

滿洲經濟關係文獻について若干――學問的にすぐれたものには滿鐵經調の「滿洲經濟年報」が昨年からある、實際的なものとしては大連と奉天との商工會議所の月報がある、なほ年鑑式のものに滿洲年鑑、滿日年鑑があるその外、滿鐵其他で問題別に出すものがある、今思ふことは折角のそれらが大衆化されてゐないことである もつと實際家は利用し、研究家は研鑽の資とし、編纂者は一層の努力が必要であらう

商況欄（五月廿八日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	三三片六分一五
同 遠限	三四片一六分三
紐育銀塊	七五仙二分一
孟買銀塊	八〇留比八分一
スチール株	三四弗八分七
アナコンダ株	一七弗八分三
米英爲替	四弗[illegible]仙八分三
米日爲替	二九弗一五仙
米支爲替	四二弗一二仙
英日爲替	一志二片八分一
英支爲替	一志八片六分九
英米爲替	四弗九五仙四分一
印日爲替	七八留比八分一

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙三〇
五月限	一一仙九六
七月限	一一仙六九
十月限	一一仙七一
十二月限	一一仙七五
一月限	一一仙七九
三月限	一一仙八二

▲印棉 休

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	八六仙二分一
七月限	八七仙八分五
九月限	八八仙四分一

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青筋	二七留比八分七
綠筋	二五留比八分一

金銀市況

●上海標金 昨引 [illegible] 本寄 [illegible] 歩 [illegible]

●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible] 五月廿八日限 寄付 [illegible] 六月十三日限 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible] 出來 不申

●奉天國幣金票 現物 [illegible] ▲六月十三日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]

●奉天國幣鈔票 現物 [illegible] ▲六月十三日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]

●哈爾賓國幣金票 現物 [illegible] ▲六月十二日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]

●安東國幣金票 現物 [illegible] 六月十三日限 [illegible] ▲六月廿七日限 出來不申

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 一四四、七五〇 買 一四五、二五〇 第二回 〃 第三回 〃 第四回 〃

▲倫敦向 第一回 賣 一志八片一六分七 買 二分一 第二回 〃 第三回 〃 第四回 〃

▲紐育向 第一回 賣 四二弗一六分一 買 八分一 第二回 〃 第三回 〃

▲大連爲替 ▲上海向 [illegible] ▲煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 賣 二六弗 買 八分一

▲阪神日英爲替 第一回 賣 一志二片 買 三分三

株式相場

▲大阪株式（短期） 大新、鐘新、東新、日產 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大連株式（短期） 品新、鈔新、[illegible] 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲奉天株式（短期） [illegible]

商品市況

▲大阪綿糸 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪人絹 [illegible]

▲神戶豆粕 [illegible]

特產市況

●大連大豆 袋込・五月限・六月限・七月限・八月限・九月限 [illegible]

●同 豆粕 現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限 [illegible]

●同 豆油 現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限 [illegible]

●同 高粱 現物・五月限・六月限・七月限・八月限 [illegible]

●哈爾濱大豆 六月限・七月限・八月限 [illegible]

●同 小麥 六月限・七月限・八月限 [illegible]

新京取引所市況（五月二十八日前場）

●大豆 現物（一石値段） 定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高 [illegible]

●高粱 現物・五月限・六月限・七月限・八月限 [illegible]

●鈔票對金票 十三日限 [illegible] 二十八日限 [illegible]

●錢鈔 國幣對金票 鈔票對金票 國幣對鈔票 現大洋對鈔票 [illegible]

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一円 廣告料 普通 一行一円三十錢 特別 同 二円五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 永越内之介

滿洲事變前に於ける身分財産の損害
救濟恤令發令さる
被害日本人の喜び

【東京國通】日本の對支關係は昭和六年九月十八日以前は極度に悪化し滿洲に於てのみでも當時の張作霖政權との間の紛爭件數は實に三百餘件に達しておりこれを支那全土に於けるものと通算するときは殆ど枚擧に遑ない程であつた而もこれ等在留日本人の身分上或は財産上の損害は支那側に交渉しても殆ど埒明かず爲に在留日本人の蒙むれる困惑は容易ならざるものあつたがこれ等日本人の救恤に關しては曩に外務當局より大藏省と交渉し救濟救恤方法に就き鋭意努力した結果今回二百五十萬圓の金額を以て救恤に乘出すこととなりこれが具体案を決定し上奏御裁可を經たので廿九日附官報を以て右に關する勅令を交附し即日施行する事となつた、勅令案の要綱左の如し

一、大正九年のニコライエフスク事變及びオホツク事變により身体又は財産上に直接損害を蒙りたる者には本令により救濟金を交附する事を得

一、滿洲及び支那にありたる帝國臣民は同地に財産を所有したる帝國臣民にして昭和六年九月十八日以前に方て該地に於ける事變擾亂其他の事件により身体又は財産上に直接損害を蒙むりたる者には、本令により救恤金を交附する事を得

一、本令による救濟及び救恤金の總額は通じて二百五十萬圓以内にして右の交附はこれを受けんとする者の申請により救恤審査會の審査を經て外務大臣これを決定す

一、前條の中滿洲及び支那に於ける事件に因る救恤の申請は來る八月卅一日までにこれを爲すを要す

一、救恤審査會は外務大臣の監督に屬し會長は一人とし外務次官これに當り、關係各省高等官より十名の審査員を以てこれを組織し申請を受理、審査に當る

擬裝を剝いだ對日親善工作
南京、北支に躍る抗日の渦

日支提携に對する平津地方の反響についての某方面よりの情報によれば、河北省政府、軍、黨部等の南京政府近來の傾向に對する觀察は大要左の如くである

南京政府は、對内的に此の親日期間中、西南派、共産黨及その他の反動派を肅清して國内の統一を促進せんとして居り特に華北に在つては親日擬裝工作により當面に於ける日本の侵略に對する、若し侵略ありし場合にはこれを日本の責任として世界に宣傳し得る便がある、更に日支親善關係を利用して積極的に歐米を牽制し得る、以上の目的を達した後は再び抗日に轉ずるであらう、尚中央の日支提携に反對すべく平津地方の大、中、小學生を中心に新國家主義聯盟なる秘密結社組織せられ、滿支通車通郵の阻止、日貨排斥日ソ開戰等を盛んに宣傳してゐる、その背後には共産黨の策動が在るものと見られてゐる

伯林に於ける英獨海軍會商
愈々六月四日より開催

【ロンドン廿七日發國通】ドイツ政府の海軍再軍備と英獨海軍問題を審議すべきロンドン會談は愈々六月四日より開催されることとなり、ドイツ側代表は來月二日ベルリン出發ロンドンに乘込むこととなつた、今回の會談に於てドイツ代表はドイツの艦隊擴張に關する内容に就きドイツ政府の立場並に英國海軍に對する三割五分要求の根據等に就き説明するものと期待される、尚英獨會談に續いて英・佛、伊三國會談を開きドイツをも含む一般海軍會議に就き豫備的商議が行はれるものと觀られる

七ヶ國海軍會議の可能性考究

【ロンドン廿八日發國通】信ずべき筋よりの情報によれば英國政府當局は英獨會談が愈々六月四日より開始されることに決定したので進んで日英米佛伊五ヶ國にドイツ及びソヴイエト聯邦を加へ本年末までに七ヶ國海軍會議を開催する意向を有し目下その可能性如何について考究中である

昨日の林陸相
（上）國務院にて記念撮影場に向ふ陸相と張總理（下）衛戍病院に傷病兵慰問の陸相

新京天津雄基に東京市產業局出張所

【東京國通】東京商品の海外進出と都下の中小商工業者の疲弊を救ふ目的で東京市產業局では天津、新京、雄基の三ヶ所に產業局の出張所を開設し、駐在員を派遣して市場の開拓と維持を圖る事になり天津出張所長には池田福松氏、新京出張所長に山本太久藏氏、雄基出張所長に久津安一氏を任命し近く開所の運びとなつたが、その成績によつては更に南支那、南洋、印度等の諸國にも進出する意向であるが同出張所は原則として無料で市況並に經濟事情調査、取引の紹介、斡旋、商品の宣傳等の諸事項を取扱ふ事になつてゐる

日滿電話連絡進捗
東京—新京、明年末完成

【大連國通】各國の視聽を集めて本年四月着工した電信電話會社に遞信省が協力して行ふ日滿有線電話の無裝荷ケーブルは電々側の奉天、安東間が明年一杯、遞信側の東京、新義州間が明後年一杯を以て完成する豫定になつてゐるが近年日滿間電話の利用は著しく増加し現在の無線電話だけでは到底その利用を消化し切れぬのと一面國防的見地から日滿有線電話の開通は一日も速に實現する必要あり、明年電々會社の安東、奉天間の架設工事の完成と同時に遞信側も既設線を利用して東京、新京間の通話を行ふべく、前田營業部長、藤澤囑託は過般上京して遞信省と折衝の結果大体同意を得た、豫定通り行けば明年末には東京、新京間に有線の通話が出來る譯けである

雜貨輸組聯合會を完成
對中南米輸出統制

【東京國通】商工省では廿七日午後本省に於て中南米雜貨輸出統制問題について官民懇談會を開催の結果、東京、横濱、名古屋、大阪、神戸の中南米向雜貨輸出組合に依つて中心機關たる聯合會を結成し近時增進の一途を示してゐる輸出雜貨を統制するに根本方針を決定した、尚來月早々創立總會を開催し右結成を正式に決定する事となつたが、事務所は當分の間本省内に置かれる筈である

内田伯同仁會々長辭任

【東京國通】大正十四年以來同仁會々長たりし内田康哉伯は宿痾のため辭任し後任に林權助男が就任した

昨日の林陸相
衛戍病院、飛行隊視察

廿八日正午の宮内府に於る賜餐は日滿要人を網羅して頗る盛大を極めたが、林陸相は宮内府を退出するや直ちに新京衛戍病院に向ひ午後二時到着傷病兵に一々見舞慰問の言葉を述べて一同を感激させた、それより途中駐滿海軍部に津田司令官を訪ふた後新京飛行隊に至りこゝで一時間に亘り軍狀報告聽取並に編隊飛行訓練を視閲して四時十分ヤマトホテル歸着したが同六時半より同ホテルに滿洲國側各要人を招待した

中國の砂糖專賣制
須磨總領事警告

【南京廿八日發國通】國民政府が砂糖の輸入販賣統制を名として事實上の專賣制を布き外國糖の不法壓迫を企圖しつゝある事實に對し當地須磨總領事は廿七日午後外交部を訪問し右は明かに條約違反であり通商の圓滑を破るものとして嚴重警告した

對カナダ通商擁護法發動
本日關税調査會で決定

【東京國通】廿九日の關税調査會に於てはカナダに對する通商擁護法發動が決定される筈、外務省では卅日午後四時總理官邸に通商審議會第六回總會及び第一回特別委員會を召集し擁護法發動の最後的態度を決定せんとしてゐる、尚同會合で右方針が決定すれば直ぐ大藏省關税調査會へ移牒して發動に要する法律手續を急ぐ筈である、一方カナダは日本よりの關税引上げを豫想しての見越し輸入が激増し居るに反省の色なく勅令に依る關税引上げ必至と見らる

マーラー公使貿易調整交渉開始を要望

【東京國通】カナダ公使マーラー氏は二十八日正午過ぎ重光次官を訪問本國政府の訓令なりとてカナダ政府は日本政府が對カナダ貿易調整の爲通商擁護法を發動する準備を進めてゐる事情に即し、カナダ國内産業に對する日本商品の影響を考慮に加へたる新通商條約の樹立準備を進めつゝあり、依つて最近の機會に日本とカナダの貿易調整に關し交渉を開始する用意を有する旨を述べた、之に對し重光次官は日本に對し貴國が爲替ダンピング税その他に依り日本商品防遏策をとりつゝある事情が我が國輿論を刺戟し三十日の通商審議會に於て對策が確立されることになつたが、右とは別に貿易調整の爲の交渉を衷心より歡迎する旨を述べた、右日加兩國交渉は來栖通商局長とマーラー公使との間に近く開始される模樣である

南、梅津の兩司令官北支問題重要會談

南軍司令官は二十八日夜來京中の梅津支那駐屯軍司令官を招き北支問題に關する重要會談を遂げた

オリムピック東京招致運動反對趣意書（上）

國民体育同志會代表 奥勝久

一、招致運動の經過

既に御承知の通り東京市に於ては第十二回オリンピック開催年度たる西暦千九百四十年が皇紀二千六百年に該當するを以てこの期會にオリンピックを東京に招致せんとして莫大なる運動費を支出し之が實現を期して居ます、同大會は既に伊太利の首都ローマ市に於て開かれる豫定となつて居たのでありますが駐伊大使杉村陽太郎氏及び世界オリンピック委員副島伯爵が懇請された結果、伊太利國首相ムッソリーニ氏が之を日本に讓ると云ふ口約を與へたのであります

その爲日本に於ける招致運動は俄かに活氣を呈し大日本體育協會始め文部省も大いに力を入れ一部代議士により提出されたオリンピック東京招致に對する建議案は當時開會中であつた帝國議會を何等の檢討もなく通過したのであります

然るに右大會の開催地を決定するオリンピック定例委員會が過ぐる三月オスロウに於て開かれました結果、席上北歐諸國の代表は主として經濟上の立場から東京案に反對しフインランドの首都ヘルシンキを以て對抗しました爲採決は遂に延期され來年開かれる伯林オリンピックの際に於けるオリンピック委員總會に於て決定する事になつて居ます

依而前述日本の各機關は殘る一ヶ年更に太々的運動と宣傳により飽く迄東京招致の初志を貫徹しようと企てて居ます、新聞紙の傳ふる處によれば大日本體育協會に於ては明年の伯林オリンピックには總勢三百二十名の代表及び選手を送り無理にもオリンピックを招致しようとして總額百二十萬圓の一般寄附を申出して居る樣であります

二、招致運動は帝國の對滿政策の根幹を過まる

オリンピックは勿論國際平和の象徴として行はれるので普通の場合であつたら吾等國民體育の向上發展を念願とする者も大いに之に賛同すべきであり國民と共にその成効を祝すべきであると思ひます

然し玆に同大會を招致するには何うしても遭遇しなければならぬ日本國家としての政策問題に打突かる難問題があるのであります、それは滿洲國と云ふ事實であります、オリンピック一般規約第二條は次の樣に規定して居ります「各獨立國若くは其屬領國の國民若くは歸化人に限りオリンピック競技に於てその國を代表し得るものとす既にオリンピック競技に參加したる者は其後歸化して國籍を變更せる場合に於ても歸化したる新國民としてはオリンピック競技に參加し得ざるものとす、但し征服に依り國籍を變更するか或は新たなる國家が成立し條約に依り之を批准せられたる場合は此限りにあらず」

此の場合「條約により批准」と云ふことは云ふ迄もなく國際聯盟の批准の意味であります、だから國際聯盟が批准しない滿洲國はオリンピックでも認めないと云ふことになるのであります

元來オリンピックに於ては其の精神は全く國際主義であるから主要な問題の審議決定はオリンピック獨自の立場に於て之を處理し如何なる國家の力にも國際聯盟の力にも抑へられないと云ふ事を以て誇りとして居るのでありますが滿洲國の問題に於てのみ以上の條文によつて之が責任を國際聯盟に轉嫁し自らも之を拒否しようとするのであります

シャム議員一行國都建設狀況視察

廿八日午前中張外交部大臣、南大使を訪問したシャム議員一行十七名は午後二時半國務院總務廳に張總理を訪問、來滿の挨拶を爲したが張總理は

滿洲國は建國後四年、國礎漸く固まり對外的にも益々進展せんとして居ります、我國は東洋に於ける新興獨立國として世界平和に貢獻せんことを期してゐます、幸ひシャムに於ける有力者たる諸氏が來滿され我國諸般の狀況を視察されることは欣快に堪えない次第です

と一行來滿の勞を犒ひ代表プラウワツタナ氏は

我々一行の滿洲國視察に當つて政府の方々から御親切に御世話下さつたことは誠に感謝に堪えない

と述べ終つて一行は自動車五臺に分乘南嶺の戰跡を見學、午後四時國都建設局を訪問、正廳に於て結城總務處長より國都建設計畫を聽取、屋上より活氣溢るゝ建設狀況を見學「今後十年後には人口五十萬を擁するすばらしい近代都市が出來上る、道路などは世界で一番立派なものになるでせう」といふ結城處長の説明にすつかり感嘆し、カメラで盛んに撮影午後五時辭去したが同六時半から大陸春に於ける外交部大臣主催の晩餐會に臨んだ

國務院會議決定事項

二十七日の第二十一次國務院會議に於ける決定事項は次の通り

一、國務院各部官制中改正の件
二、文教部に臨時職員增置の件
三、臨時國境警備費、水災善後補助費及北滿鐵路接收に伴ふ臨時警備費として康德元年度第二準備金支出の件

協和會で日暹友交親善座談會

滿洲國協和會では來京中のシャム國議員團を迎へ二十九日午後四時三十分から中銀クラブで日シャ親善友好のため座談會を開催することとなつた出席者はシャム國議員團、星野財政部總務司長、筒井大使館情報課長、川崎宣化司長、林關東軍參謀、赤田少佐、芳賀軍政部員、謝協和會中央事務局長、結城、呂、宮脇三委員、小川社會科長である

新民會評議員第一回議員會

さる二十日に行はれた新京居留民會評議員改選以來始めての民會評議員會は二十九日午後一時から民會事務所で開催昭和十年度の會長、副會長及び會計監督の互選が行はれる筈なほ各區長の推薦も同時に行はれる、豫定であつたが都合により區長の推薦は次回の評議員會まで延期された

八田副總裁離京

林陸相一行と共に來京した八田滿鐵副總裁は二十八日午後八時發で歸任した

第十二回オリムピックの東京招致に滿洲國内から反對運動が起つてゐるが、此問題は當然逢着すべき大きな矛盾だ▼理由は滿洲國が參加出來ず、アジアに於ける滿洲國の威信、いや帝國の威信をどうするかといふにあり、といつて今更らローマに返へすわけにもゆかず困りもの▼この問題の解決には唯一つ滿洲國の參加を認めるよりほかないが、そんなことが關係者によつてほんとうに考慮されてゐたのかどうか▼オリムピックの招致はむろん結構である、がさて滿洲國の參加をどうするかゞもつと大きな問題であり、たとひ今度の反對運動がなくとも眞劍に考へてよい▼吉野町の車馬通行禁止時間が現在夜七時から十一時までといふことになつてゐるが、もう少し時間を早めて、遲くも六時からに改めたらどんなものだらうといふ要望がある▼實際今頃特に土曜、日曜など定刻の七時以前に通つて見ると夜店も大部分出て居れば、散策者も隨分多い、それに馬車自動車の通行で混雜と來たらお話にならない▼百聞一見に如かず僅か一日二日の見物を樂みに吉宿の夕飯を早くすまして、吉ブラに出かける旅客の立場になつて見れば一層痛切なものあらうとお察しする

人事往來

▲貝瀬謹吾氏（滿洲技術協會々長）廿八日午後發奉天へ
▲石黑大佐（軍政部顧問）同吉林へ
▲邢士廉氏（中央訓練所長）同來京
▲北島多一博士（北里研究所々長）同ヤマトホテル投宿
▲松尾巖氏（京都帝大教授）同

航空往來

▲小河原彌氏（官吏）二十八日午前發承德へ
▲三好房雄氏（新京會社員）同平安鎭
▲孫參謀長（第四軍管區司令部）同ハルピンへ
▲有富光門氏（ハルピン會社員）同

社説

米國銀政策の再考察 特に日支關係への配慮

一

近着電報の報ずるところによれば、アメリカ合衆國の銀政策には若干の變動があつたもののやうである。詳報未着のためこの最近の動向をつまびらかにし得ないが、この際アメリカ銀政策一般について一應の檢討を加へて置くことは無意義でないであらう。

二

銀買上げを强行してゐる米國の意向は、政治的にも經濟的にも、また外交的にも極めて意味深いものがある。

先づ經濟的見地からこれを見ると、その銀買上策が同國政府の貨幣操作を背景としてゐることはいふまでもなく、ルーズベルト大統領はその優秀なブレーン、トラストとともにNRA運動の一翼としてこれに力を注いでゐる。ルーズベルト大統領はさきには米國の經濟的行詰りは國民の金退藏に在りとして、金を穴藏から引き出す政策を行つたのだが、それでも國民經濟は立直らないので銀に目をつけたのである。ルーズベルト大統領の描いた貨幣操作上の理想は、金、銀の複本位制に在り、それに到達する前提として差當り、政府保有の金と銀との比率は三對一でなければならないといふにあるこのためには先づ政府は銀保有の準備に掛るべきだとの肚を決め昨年夏、大統領令を以て銀國有の方針を聲明し、同時に銀の買上げを開始したのであつた。

三

銀買上げの經濟的理由の第二は米政府がこれによつてインフレーションを續行せんとするにある。すなはち銀買上げによつてそれだけ發行される紙幣を以つて物價を騰貴せしめんとしてゐるのである。

米政府銀政策の政治的理由も重要なものがある。これはアイダホ、ユタ、コロラド、アリゾナ等の銀產地が甚だ不振であること、これらの諸州から選出されてゐる議員が結束して政府を鞭撻してゐることで容易に理解される。

四

外交的理由を考察するに、米國は支那の數次の請願を拒否したことを知る、その態度に、われらはアメリカの對日政策が盛られてゐることを發見する。そして更に一歩突き進んで言へば、米國の政策が直接日支の關係に暗影を投じてゐるのである。これは複雜微妙な關係の動きである。

五

表面上、日支關係は好轉しつゝある。而してこれに最大の關心をもつものは言ふまでもなく米合衆國である。日支の親善は米國に不利をもたらすと彼らは考へてゐるに違ひなく、その考へこそが銀政策の强行に表現されて來たのだ

天皇機關説に關する陸軍當局の見解（完）

帝國在鄉軍人會本部發表

二、天皇統治と歐羅巴流君主政との混同

美濃部博士は其著書に於て我が政體を君主制なりとして居るのであるが、博士の所謂君主制なるものは、かの專制君主制と稱せられしものを除くの限り、民主主義的なる點に於て大統領を元首とする共和政と大して異る所無きものであつて、我が天皇統治の本質とは根本觀念に於て似てもつかぬものなのである

即ち、美濃部博士の「憲法撮要」に依れば、國の政體を君主制と共和制とに區別することは、其區別の要點が何れに在るか頗る爭ある問題であつて、之に關し色々の說があるか、要するに「統治權ハ國家ニ屬スル權利ニシテ、統治權ノ主體ハ何レノ國ニ於テモ常ニ國家ナリ」と言ふのであるからして、之を博士の法に就ての解釋と結べば、結局政體の君主制なると共和制なるとを問はず、何れも實質的の主權を國民の上に認むる民主主義的政體であることに變りはないこととなるのである

惟ふに、近代歐米に發達せる國家の政體を、君主と共和政とに區別するの一般的慣例は國の元首に、國民の選擧に依る大統領を推すを以て共和制と爲し、カイゼル、ツアー、キング、エンペラー等所謂世襲君主を戴くを以て君主制と呼ぶのである。而して我が國語への飜譯に於ては通常、キングを王、カイゼル、ツアー、エンペラー等を皇帝と譯して居り、又、王及皇帝を大統領に對立呼稱するの總稱として君主と稱するところから、不用に天皇をも此君主の部に包含せしめたのであらう、成程天皇は或る場合に於て君主なる總括的槪念の中に入れらるゝ場合もあらう、併し、天皇は飽く迄も天皇であつて、其本質はキングでもなく、カイゼルでもなく、ツアーでもエンペラーでもない、不用意の觀念的倒錯より、歐羅巴流君主制と天皇統治とを混同するが如きことは絕對に排擊せねばならぬ、天皇統治が其本質に於て歐羅巴流君主制と異る獨自のものであることを認め得なかつた此學派の人々は、畢竟天皇統治の本質に關する國體的認識に缺けて居たと申す外はない

三、天皇機關說

天皇機關說は、既述の國家法人說に伴ひ我が政體の說明の上に必然的に出で來るものであつて、國家法人說と不即不離の關係に在り、法人說の誤謬を指摘したる上は、更めて之が批判を繰返すの要も無いであらう、思ふに、天皇機關說も君主機關說として歐羅巴の君主國に適用するならば或は妥當であるかも知れぬ、此邊にも亦前項に說けるが如き天皇統治と君主制との混同の影響が現はれて居る

結言

一、要するに、帝國憲法は我が國に古來傳統する所の天皇統治の大法を必要に應じて成文化したるものである即此天皇統治の大法こそは即ち不文の我が國憲法である故に、帝國憲法の成文條章は常に此大法に照し國體に顧みて解釋さるべきであつて、成文條章の字句を自己の狹き見解に於て解釋し、成文の條章にかくあるが故に之以外に解釋し得ずと爲し成文條章の字句の自家的見解より逆に我が大法を規正し國體を作爲せんとするが如きは本末顚倒も亦甚しと言はねばならぬ

二、吾人は屢々「學說なるが故に勝手なるべし」との言を耳にするも、學說と雖國體を損ふものは放置し得ぬと考へるのである、蓋し、學說が研究室に於て研討論議される間ならばいざ知らず講堂に於て講ぜられ、一般市井に公刊せられ、我が學界の錚々たる學者の名を以て國民全般の前に發表せらるゝに於ては、其我が思想界に影響する所少からずと思惟するからである、吾人は、我が國民の國體信念が一部學說に依つて覆るが如き薄弱なるものとは考へぬ併し、事苟くも國體の問題に關する限り、些少の民心動搖をも生ぜしめてはならぬと信ずる次第である、尙吾人が此處に世人の注意を喚起したきは、學說の自由を論ずるに方り、一般憲法論と、我が帝國憲法解釋とを混じてはならぬことである、一般憲法論に於て一般元首の機關論を論議するも差支へはなからう、併し事一度日本の現實の問題となつて我が天皇の機關論などを說くは絕對に許し得ぬ所である、況んや、其學說に於て其論據に誤あること本冊子に指摘したる如きに於てをや

三、吾人は、速に斯かる迷妄の說を一掃するのみならず、其說が生じ、其說が由來する所の背後の思想を是正するの要を痛切に感ずる次第である、蓋し、我が國民の全部が眞個の日本精神を認識把握しあらばかゝる迷妄の說の如きは全然生じ來る筈がないと思ふからである吾人は此處に筆を止むるに方り、我が國民全部の思想が純正日本精神に覺醒せられ、我が國體が自らなる生成發展を遂げて、建國の理想が著々として顯現せられ行かんことを祈りて歇まぬ次第である

英獨會商と 七ケ國海軍勢力比較

【東京國通】ドイツの海軍復興に關する英獨會商は愈々今週中に開かれる運びとなつてドイツ海軍の保有量其他技術的問題に亘つて交涉が開始されることになつた、然しドイツの企圖する海軍復興計畫は對英三割五分即ち約四十二萬噸を保有するにあり、假にドイツが四十二萬噸を保有するとなるとフランスの五十六萬噸に接近しイタリーの三十七萬噸、ロシアの二十四萬噸を凌駕することになるのみならずドイツ海軍の殆ど全部が新銳艦艇をもつて組織することになるので、之が完成の曉には其の實力は排水量の相對比以上に有力となるものとなる關係上各國の海軍政策上に響くことを不可避とせねばならず、英國としては單に對獨關係以外對佛對伊關係をも充分にいれねばならぬ立場にあるので、對獨會商に當つて如何なる態度に出るかは歐洲各國の注目を惹いてゐる事であるが、我海軍でもこの成行き如何は五ケ國軍縮會議に影響するので多大の關心を以て見てゐる、五月廿三日現在調査による、日、英、米、獨、佛、伊、ソ聯各國海軍の既成艦保有量を比較すると左の如くである（千噸以下切捨）

△日本
主力艦 八隻 廿七万二千噸
航空母艦 四隻 六万八千噸
（制限外の二隻 二萬一千噸）
巡洋艦 十二隻 十万七千噸
乙級巡洋艦 十九隻 九万八千噸
驅逐艦 九六隻 十一万六千噸
潛水艦 五五隻 六万六千噸
合計 一九七隻 七十五万三千噸

△アメリカ
主力艦 十五隻 四十五万五千噸
航空母艦 四隻 九万二千噸
（制限外のもの四隻五萬八千噸）
甲級巡洋艦 十五隻 十四万二千噸
乙級巡洋艦 十隻 七万噸
驅逐艦 二二六隻 二十五万七千噸
潛水艦 八三隻 六万九千噸
合計 三三七隻 百十四万五千噸

△英國
主力艦 十五隻 四十七万四千噸
航空母艦 六隻 十一万五千噸
（制限外のもの二隻一萬五千噸）
甲級巡洋艦 十九隻 十八万三千噸
乙級巡洋艦 三三隻 十六万七千噸
驅逐艦 一七〇隻 十九万九千噸
潛水艦 五七隻 五万六千噸
合計 三〇二隻 百二十万八千噸

△フランス
主力艦 九隻 十八万五千噸
航空母艦 一隻 二万二千噸
（制限外のもの一隻一萬噸）
甲級巡洋艦 十隻 十万千噸
乙級巡洋艦 八隻 五万二千噸
驅逐艦 七〇隻 十六万六千噸
潛水艦 九七隻 八万三千噸
合計 一九六隻 五十六万六千噸

△イタリー
合計 一七八隻 三十七万二千噸

△ドイツ
主力艦 五隻 五万九千噸
航空母艦 ナシ
甲級巡洋艦 ナシ
乙級巡洋艦 六隻 三万三千噸
驅逐艦 二五隻 一万三千噸
潛水艦 ナシ
合計 三六隻 十万二千噸

△ソ聯
合計 一〇七隻 二十四万三千噸

孫財政相歸任

京城に於る北鮮稅關設置協定細目調印を了した財政部大臣孫其昌氏は永井關稅科長と共に廿七日午後九時ひかりで歸任した

金前市長 新任地赴任

新京新市長韓雲階氏は二十七日午後四時國務院に出頭張總理より正式任命されたが午後三時金前市長退任挨拶をなし同氏は直ちに同九時廿分新京發列車でハルビン經由で新任地チチハルに赴任する事となつた

軍政部大臣 事務引繼

特任式を了へ歸奉中であつた于芷山新軍政部大臣は前任地に於ける事務の整理を完了し二十七日着任したので軍政部では同日午後二時四十五分新舊大臣登廳し事務の引繼を行つた、續いて部員全部を一堂に集合せしめ前大臣張景惠總理は離任の挨拶を新大臣は新任の挨拶を何れも述べ之に對し郭恩林次長より答辭を述ぶるところあつた終つて新大臣は張總理に同道され國務院を訪問し各要路に挨拶をなした

日支經濟提携は先づ棉花より

廣田外相有吉大使と打合せ

【東京國通】日支經濟提携に關しては廣田外相は支那の排日取締の實情を監視する靜觀的態度を以て專ら民間實業者間の自發的接觸に一任する方針をとり近く歸任する有吉大使と詳細打合せを爲すところあつたが、之が具體案として先づ支那に於ける棉花栽培を奬勵し我が產業との合理的提携を策する事となり、有吉大使は歸任の途次關西の紡績業關係有力實業家と會見、支那棉花の買付けに就き重要打合せを行ふ事となつた、即ち河南、山東、廣西省方面の棉花は相當の成績をあげ品質も漸次改善されて居るので、我が國は出來るだけ多量の棉花を購入し經濟提携の一助と爲すと共に、同地方に我が技術的援助を行つて支那棉花の積極的改良に乘出す方針で各方面から期待されて居る

滿洲國觀

エール大學教授

米國前エール大學教授で目下アメリカに於る有名な評論家たるフルックス、エメニー博士は滿洲國觀察の爲廿七日朝來京、午後十一時發列車でハルビンに向つたが出發に先立ち左の如く語つた

滿洲國を訪問してから未だ三日にしかならないので、滿洲國についてはたゞその外廓しか掴んで居ないが、その異常な發展に驚いてゐる、支那を旅行してさて滿洲へやつて來ると、大連が實に美しく秩序整然とした街に見えた、又卓越した滿鐵の機構、新京の老大な建設計畫等實にすばらしい、新京は全く建設氣分に滿ちあふれた街だ歐米人が未だ極東を十九世紀時代の極東とばかり思ひ込んでゐることは甚だ遺憾なことだ殊に極東の情勢と云ふものは刻々に變化してゐる、然し乍ら彼等はその變遷に就て誤つた見方を傳へてゐる、日本の經濟力の强化は極東に於ける歐米の貿易を閉鎖させるのではないと云ふことを彼等は理解せねばならぬ如何なる國でもその異常な進展を爲す時は他國に衝動を與へがちのものだ、で日本の外交に就て見るも如何にして此の衝動によつて起る結果を緩和させんとするかに見える、日本に對しては種々な批評もあるが之は孤立無援の日本に對する批評ではなく日本の如く進展の過程を辿りつゝある國の兎角受け易い批評だ

次に石油問題については滿洲國の石油專賣實施によつて何も米國と滿洲國との貿易が杜絕したものではない、米國は日本を通じていくらでも滿洲に石油を賣込む事が出來るではないか

と氏一流の明快な解釋を下し滿洲國の獨立に關しては歐洲大戰後に於る政局無能狀態を世界に認識せしめる必要上滿洲事變の突發は天來の警笛とでも言ふ可きであらう

と語つた

一條日滿協會々長 要人を招待

貴族院議員滿洲國視察團々長として目下滯京中の一條實孝公爵は日滿協會々長の資格を以て廿七日午前七時半ヤマトホテルに滿洲國要人を招待、ブラックファーストパーティを開催した、列席者は張總理、丁羅監察院長、袁尙書府相、呂交通相、馮法相、阮文相、呂民政相、胡參議、田邊參議、筑紫參議、工藤侍衞官長、商宮內府內務處長、許文教部次長、林最高法院長、鄭國都建設局長、神尾學務司長、王荊山氏、山口重次氏其他會長と同行の貴族院議員、片桐肝付、永野、油井、井上、植村、田中の諸氏並に日滿協會關係者で宴開かれるや一條會長より挨拶あり之に對し羅院長答辭を述べて一同朝餐をとりながら和氣靄々たる裡に會談を行ひ同九時記念撮影の後散會した

滿鐵改組の緊切（二）

大連 岡本理治

日本內地の自由主義の曖昧は如此が、滿洲に在るクレオール扱ひをされてゐる同胞の中にも、愚昧なるものの存する事を私は悲まざるを得ない其は滿鐵の社員會であり、殊に其先鋒たる滿鐵靑年同志會である、私は昨年正月、東京にて、宮城內侍從武官府に本庄大將を訪ねた、大將は私に、滿鐵靑年同志會とは如何なるものかと訊ねた、私は之に答へて、滿鐵靑年同志會とは、學校出のホヤ〳〵社員が、國家社會主義をモットーとして團結せるギルド團である、と謂ひしが、大將は、其れなら軍部と必ずしも背馳しないではないかと謂れた、私は、其れが甚だ宜敷くないのです、彼等は「經濟は經濟人に」と謂ふスローガンを揭げてゐる、玆に意味する經濟人とは滿鐵人と謂ふことにて、殊に同志會と云ふことである、故に滿洲の經濟は擧げて同志會の意志に一任せよ、軍部も其他の方面も全部排斥するとの意である、爲之滿鐵改組問題の論爭が酣なりし際、彼等は關東軍に至りて、將來滿鐵が改組さるれば我等靑年を滿鐵幹部にせよと要求せしとの噂があると謂ひし所大將は其れはイカンなあと云はれた、歸滿後沼田參謀に會ひ本庄大將との會話に就き語りし際、沼田氏は其事のありしを肯定した、此故斯る噂の事實は實際に存在せしことと想ふ、洵に苦々しきことである

▽……△

日本資本家の低劣なることを表明せし一例は、最近來滿せしシンヂケート團である、彼等は中央銀行に要求して、自分等は滿人の實際家庭生活を見たいから、上中下の三階級を見せて吳れと注文した、中央銀行にては、困つた注文と想ひしも止むを得ざる故、滿人の上中下の家庭夫々二家族を賴みて見せて貰ふことにし彼等を導きて見學に往きしところ、一軒を見たるのみにてツマラヌ故歸ると謂つて、其外を見ずして止めにした、之に反し先般來りし、英國產業視察團は便所の隅迄叮嚀に見學して歸りしとのことである、彼我の心術の眞摯の程度、品性の高下一見して明瞭である一事は萬事洵に慨嘆すべきことである、シ國の連中は何者ぞ彼等は日本財閥即ち和製ジュの手代に過ぎざる街頭役に非ざるか、身の程を知れば斯る暴慢は出來ざる筈である、彼等の心術洵に唾棄すべきものがある

▽……△

昨年二月、私はウスリイ丸にて、偶然滿鐵の十河理事と同船して、歸連した、私は布衣報國に立つもの故、勿論金が無いから三等に乘込んだ、十河氏は勿論一等である、一日私は一等の應接室に往き、十河氏と面會し次の如き會話をなした

▽……△

自分は滿鐵改組問題に就き布衣報國の一端として、東京に往き關係當路に、一局外者として獨自の意見を開陳し、只今歸連の途に在る、私は今ゼ、エコノミック、ファウンデーションス、オブ、ファシズムと云ふ書物を讀みつゝあるがその中に、伊太利にてファシズムが成功せし所以は「共同の利益に協力する爲め、私利的考慮を放棄する心懷」に因るものであると書いてあるが、滿鐵は、軍部に對抗する爲め、拓務省と合流して、事態を紛糾せしむるは不都合と想ふが如何と質問せし所、十河氏は其れに就きては何も言ふを憚る、貴君は「滿鐵改組の眞意義」と云ふ册子を出版して、滿鐵は無智無能なりと謂つてゐる。滿鐵は何にも出來はしないと言つた、私は之に對し、滿鐵は無智無能なる故今少し勉强せねば、駄目だと謂つた、十河氏は之に答へて今後貴君に敎を受くると謂つた、私は先般ホールデイング、コンパニーの會計事務に就き滿鐵が知らないから敎へてやらうと親切に申込たるに對し岡本輩に敎を受けぬと拒否せし故今後余に敎を乞ふとも、氣に向けば敎へてやるし然らざれば敎へてやらぬと答へた更に私は謂ふ、滿鐵改組に關する紛糾は各方面がギルド的意識に立ちて、勢力爭ひをするからである、滿人は元來マキアベリズムである、之を黃刑老名の學と謂ふ、若し日本人間の勢力鬪爭が繼續すれば、此ヂスクレパンシイを利用されて如何なる結果が發生するか解つたものでない、殊に帝制が確立し各國が滿洲國を承認し、各國の大公使が新京に駐在することになれば事態は益々困難であらう、貴君は之に就き、如何に想ふかと訊ねし所、十河氏はそんな難しきことは、止めようと謂つた、私は自分は難しきことを謂ふのが好きだと謂つた、歸滿後新京に往き、沼田中佐に此會話を語りし所、沼田氏は、十河氏の心懷に就き貴君は如何に想ふかとの質問があつた、私は之に答へて、大阪にて大朝の岡松文雄君の私に話せし所によれば『十河氏は貴君が謂ふが如く、軍部に對抗する意思は持たない、反て滿鐵改組に就きて非常に心配して、圓滿解決に努力してゐる』とのことなりし故、此情報は眞實であらうと想ふが、十河氏の心理は中々複雜なる故何とも謂へぬと云つた、沼田氏は、頷いた

商況欄（五月廿八日後場）

金銀市況

●上海標金
前引 七五六、三二
後寄 七五七、六〇
歩 七五六、五〇 七五六、〇〇

●大連金鈔票
現物 寄 一三六、四〇 引 一三六、〇〇 出來高 四万
六月二十八日限 寄 一三五、六〇 歩 一三五、五〇 出來高 … 出來

●大連鈔票銀大洋
現物 一四〇、一〇 引 一四〇、〇〇 出來高 四〇万 不申來

●奉天國幣對金票
現物 一〇三、五〇 一〇三、九〇
▲五月廿八日限 寄付 九九、〇〇 引 九九、三〇 出來高 九万

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 賣 一四四、七五 買 一四四、二五
第二回 賣 一四五、〇〇 買 一四五、二五
第三回 賣 一四五、二五 買 一四五、七五
▲倫敦向
第一回 賣 一志八片 一六分七 買 二分一
第二回 賣 不變
第三回 賣 〃
▲紐育向
第一回 賣 四二弗 八分〇 買 八分一
第二回 賣 不變
第三回 賣 〃

▲大連爲替
▲上海向
一四七〇〇 一六三五〇
一四八〇〇 一六八〇〇
一四九五〇 一七一〇〇
一五一〇〇 一七〇〇〇
一五三五〇 一七二〇〇
一五五〇〇 一六六〇〇
一五八〇〇 一六五〇〇
一六一五〇
▲倫敦向
一五五〇〇 一七七〇〇
一五七五〇 一七二五〇
一五九五〇 一七〇五〇
一六二五〇 一六八〇〇
一六七〇〇 一六六〇〇
一七〇〇〇 一六五〇〇
一七五〇〇 一六六五〇
一八〇〇〇

株式相場

▲大連株式（短期）
寄 引
五品 一七、〇〇 —

特產市況

●大連大豆
受込 四、八四 四、八二
五月限 四、七七 四、七七
六月限 四、八六 四、八三
七月限 四、九〇 四、八八
八月限 四、九四 四、九二
九月限 四、九八 四、九八
●同 豆粕
現物 一、五六五 一、五六〇
五月限 一、五八〇 一、五七〇
六月限 一、五四〇 一、五四〇
七月限 一、五四〇 一、五四〇
八月限 一、五四〇 一、五四〇
九月限 — —
●同 豆油
現物 一四、〇〇 一三、九五
六月限 一四、〇五 一四、〇五
七月限 — —
八月限 — —
九月限 — —
十月限 — —
●同 高粱
現物 — —
六月限 — —
七月限 — —
八月限 — —
九月限 — —
●哈爾濱大豆
現物 — —
五月限 四、一〇 四、一〇
六月限 四、一二 四、一二
七月限 四、一五 四、一三
八月限 四、一八 四、一三
九月限 四、一六 四、二二
●同 小麥
六月限 一、〇四五 一、〇四五
七月限 一、〇〇〇 一、〇〇〇
八月限 一、一二五 一、一〇〇

新京取引所市況（五月二十八日後場）

●大豆
現物（一石値段）
定期（混合百斤値段）
寄 引 出來高
五月限 — —
六月限 四、一五〇 四、一五〇 三車
七月限 四、二〇〇 四、二〇〇 三車
八月限 — —
●高粱
現物 — —
五月限 — —
六月限 — —
七月限 — —
八月限 — —
九月限 — —
●鈔票對金票
寄 一三三、四〇 一三三、四〇
十三日限 二十八日限 一三三、三〇
●國幣對鈔票
引 出來高 一〇九、九〇 一〇九、九〇
十三日限 二十八日限
寄 八二、六〇 八二、七〇
引 八二、四〇 八二、五〇
出來高 一万九千 一万六千

手形交換（二十八日）

金票 四四五枚 三二〇、六八〇圓
鈔票 三四枚 三一、〇一〇圓
國幣 三六枚 四〇、〇〇〇圓

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
豆鈔新	三三、三〇	三三、四〇
鐘新	二三一、〇〇	二三一、三〇
東新	八六、三〇	八五、九〇
日產新	一三一、三〇	一三二、三〇
滿鐵	六三、五〇	—
二新	一六〇、〇〇	—
滿取	一三一、〇〇	一三二、一〇
東新	一二三、〇〇	一二三、五〇
鐘新	八七、四〇	八六、六〇
日產新	九一、〇〇	九〇、八〇
大新	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇
五品	一一三、四〇	一一三、六〇
豆甲	一六、四〇	一六、二〇
電乙	一一二、四〇	一一三、四〇
同新	六二、一〇	六二、〇〇
滿鐵	九、八〇	九、八〇
二新	一六、四〇	—
東拓	九、三〇	九、二〇
東亞	六〇、五〇	二八、〇〇
日魯	三六、五〇	六一、〇〇
滿興	二四、四〇	二七、六〇
滿毛	二八、四〇	一五、三〇
優先	一八、〇〇	一八、一〇

北満

哈市食料品業の癌 露滿人の對立打破
市當局積極的取締に乘出し 幾多弊害の一掃を期す

【ハルビン支局發】哈爾濱に於ける飲食料品檢査問題は、舊東北政權時代以來屢次問題化されたが諸種の事情が複雜して實現するに至らなかつた併し滿洲國成立、哈爾濱特別市實施と着々軌道に乘つたので最早不衛生な狀態をそのまゝにして放任するを許さぬ時代となり市當局に於てもあらゆる困難を排して實現に邁進し曩に屠殺場に對する嚴重取締、酒類の統制等實行したが今度は更に一歩をすゝめ哈爾濱食料品業の癌とされてゐる露滿人の對立を高壓的に打破して從來の行きがかりに頓着なく斷行することとなり統制檢査、價格と市が積極的に干渉的態度に出で多年の懸案を一擧に解決し市民の輿望に副ふこととなつた

▲屠殺場に於いての案件

市當局では屠殺場の市營以來、衛生上の立場から牲畜の檢査、生肉の顯微鏡的檢査、消毒など萬全の努力を拂ひ遺憾なきを期してゐるが、今般更に幻燈式顯微鏡を裝備し一層屠殺生肉の檢査を嚴重にすることとなつた次に市當局では肉類の市價統制を企劃し之が第一着手として道裡俄人畜業組合、滿人豚肉業組合、道外の回々教豚肉同業組合、牛肉商組合の統制に乘出さんとしてゐる

現在のところでは生肉を取扱つてゐる四組合はそれぞれの立場乃至は歷史に拘泥して相排濟し從つて價格も不統一にして市民の被むる實害は莫大なものがある

市當局は斯かる弊害を除去するため品質、價格の統制をなす肚で右四組合の合同を慫慂してゐるから早晩組合合同の機運を釀成しその成立實現するものと期待されてゐる

▲乳牛檢査

哈爾濱には露滿人合せて約二百軒の牧場があつて現在登録された乳牛數は六千頭を算し、いまだ統制が取れてゐないために、各牧場からそれぞれ市中に牛乳を賣出してゐるが、從來屢々市民から統制が叫ばれたにも拘らず實現するに至らなかつた、これが爲に中には粗惡な無消毒な牛乳を賣り出すものもあつて健康を害した例は極めて多い、これが品質及價格の統制は最も急務とされてゐるので市獸醫股では、右小牧場を一ケ所に集め組合を結成せしめて衛生的設備を施し乳牛の健康檢査、牛乳の消毒檢査など市で統制して施行したい意向を以て組合結成に促進的斡旋を同業者に與へてゐる由である、業者も最近市の意向を諒解し合同促進の機運動きつゝあるから、市の統制下に置れた曉は市民も安心して牛乳が飲める譯だ

▲雜件

外に市當局で力瘤を入れてゐる問題は滿露人の別なく麵麭製造業者に組合を結成させ、粗惡な麥粉や玉蜀黍粉の混入など粗製品の販賣を禁じ嚴重な檢査をすると共に、價格の人爲的吊上げを極力防止する、又近來松花江魚類の需要が增加し且つ漁撈期に入つたので之亦哈爾濱市に供給する漁夫及魚商の組合を作らせ取締の實をあげんことを期してゐる

來るシーズン觀光
國際都市(はるびん)目指し 觀光團殺到!
「あじあ」直通の日も近く 觀光機關緊張す

【ハルビン支局發】觀光シーズンに入つたので毎日哈爾濱を目指して南滿から押しかける觀光團体で市中の各旅館は大繁忙を極めてゐるが、哈爾濱鐵路局、ハルビン驛、ビューロー、市公署、旅館業者等も相提携してこれ等觀光客接待に大童だ、とも角觀光機關を新設することが急務だといふので市公署及び鐵路局は之れが急速な實現に邁進する事となつた、特に市公署側はこの程代表者が協議した結果、七月一日から觀光科を設けることに大体方針を決定した

市觀光科の目的は日本內地や外國からの觀光團に充分目的を達せしめるため名所案內や哈爾濱並に北滿に關する紹介をする事にあつて先づ哈爾濱を見ない日本內地や南滿方面からの旅行者に概念をあたえるために主要地點や驛等に松花江鐵橋と瞭望台を配したロシヤ美人のポスターを配り、團体客市中案內には遊覽自動車を用意し觀光科員が乘りこんで說明し案內書を洩れなく渡す、觀光コースを是非とも松花江にまで延長し、遊覽ボートを備へ水上から見た哈爾濱を紹介し併せて東洋一の松花江鐵橋や河埠頭施設を見せ江岸の雄大な風光にも接せしめようといふわけである

一方、哈爾濱鐵路局でも觀光機關を設置し新京まで來た旅客を是非とも哈爾濱まで誘致しようとの考へで着々計畫をすすめてゐる大連から哈爾濱まで超特急あじあが直通する日も近い

ここ北滿の國際都市は觀るべき風物、研究すべき事項も多い、鐵道關係者、ビューロー、旅館業者は遊覽客誘致に秘策を練つてゐる

哈市神社の 春季大祭賑ふ

【ハルビン支局發】哈爾濱在留民の待望久しかつた哈爾濱神社の初の春季大祭は廿四日午前八時から嚴肅な前夜祭(宵祭)が執行され廿五日は午前十時から哈爾濱未曾有の嚴肅盛大な本祭が執行された

今年は在留邦人の野遊會を廢し春祭に力瘤を入れただけにお祭氣分は早くも二十四日を皮切りに地段街、キタイスカヤ街等の邦人街は水野組の奉納した神輿を同組の若者連が奉仕し早くも邦人街は湧き立つた、二十五日本祭の當日は銀行會社も休んで慶祝の意を表し、哈爾濱神社は早朝から參拜者が陸續と踵を接した、境內に設けられた演藝場には市內選りすぐりの美妓連の手踊、一方角力場には肉彈相搏つ迫擊戰が演じられ歡聲しきりに湧く、全市を五組に分ち各組から子供の樽御輿が出たが揃の法被向ふ鉢卷も愛らしく練廻つたのは賞讃を博した

國際都市哈爾濱も今日ばかりは全市をあげて日本色に塗りつぶされ北進日本の姿を色濃く描出した

松花江に映ゆる 絢爛、光の亂舞
哈市第二回 煙火大會近づく

【ハルビン支局發】哈爾濱特別市は昨年八月一日特別市々政記念として哈爾濱松花江上で煙火大會を催したが十七、八萬人の人出で豫期しない成功をおさめたのに氣をよくして毎年之を催して滿洲國の名物にしやうといふことになり本年は本場の兩國川開きにも優るとも劣らぬ大規模な煙火大會を催すことに決定した、そのプログラムによると七月一日正午までと午後八時半から十時半までの二回に分けて行ふ

本年初めての試みとしての北滿人の度膽をぬくに充分だらうといふことだがその一つは王道樂土、五民和平、滿洲帝國の光輝ある建國史と名付け橫幅三百米、高さ百米、所要煙火千五百で中央には滿洲國花蘭花を描き出す、第二は滿洲國皇帝陛下御訪日日滿大國民の歡喜大夜景圖と名付け、扇形に浮出す仕掛けである 第三は躍進途上にある大哈爾濱で所要煙火千發である

雄大な北滿の天地、ゆるやかな松花江の流れを織込んだ哈爾濱納涼大會はたしかに滿洲國の一名物とならう七彩光りの亂舞、絢爛人目を奪ふ煙火大會に遊覽客を誘致しようといふので市公署は南滿方面にまでポスターを配つて大々的に宣傳することになり鐵路局は臨時列車を運轉して後援する筈である

實驗中學校 校長は推薦に依る

【ハルビン支局發】第二中學校を假校舍として開校された文教部御自慢の實驗中學校は將來の滿洲國文教の基本確立學制統一の試驗台としてその成果は各方面から多大の注目を拂はれてゐるが、哈爾濱實驗中學校の收容生徒は九十六名、孜々として勉學に勵んでゐる、校長以下專任の教諭の任命は今もつて發令を見ないが濱江省教育廳が推薦の校長に落ちつくものと看られる同校科目時間表は左記の如くで日本語を一週五時間教授することが特に注目される

ロシヤ語を廢し英語を課することも新しい試みだ

固定科目時間表(一週間)
△修身一時間△經學二時間△國文六時間△日語五時間△英話二時間△數學四時間△歷史、地理二時間△理科二時間△藝術一時間△實務四時間△休育二時間△音樂一時間

實務四時間は哈爾濱に即した實際的科目を課するものである

鴨綠江の水路と 水運に就て(完)

四、對尾

約四十年前(光緒廿年頃)鴨綠江沿岸居住民によつて發明され船体は中央部より二分され前後は綱で連結され彈力性あるを特長とし、暗礁多く水流急速な河川の航運に適す、鴨綠江に於る漕船中最も古い歷史を有するものであるが、新造費及修繕費共多額に上るので年々減少の傾向にある

形態 長 平均約 六〇尺
幅 同 一一尺
深 同 二尺
積載量 約一四〇支那石(一二五二日本石)
積荷 雜貨
利點 吃水少く積載量多く坐礁した場合も危險少い
缺點 新造費大

五、天津大漕

約三十五年前(光緒二十八年頃)天津人によつて創造されたのでこの名がある、積載量は多いが造船費の多額を要するのと運搬不便のため年々減少の傾向にある

形態 長 平均約 四六尺
幅 同 九尺
深 同 二・八尺
積載量 約一四〇支那石(二五二日本石)
積荷 穀類・雜貨
利點 積載量多し
缺點 新造費大

六、天津小漕

約卅五年前(光緒廿八年頃)天津人によつて創造されたもの

形態 長 平均約 四二尺
幅 同 八・五尺
深 同 二・七尺
積載量 約九〇支那石(一六二日本石)

七、小殺

約卅五年前(光緒廿八年頃)山東人の創造になり旅客及小荷物等の輸送に使用される一種の救命ボートで廠口の附屬傳馬とも見るべきものである故に目的地到着後は廠口同樣木材として賣却される

形態 長 平均約 三五尺
幅 同 八尺
深 同 一・八尺

八、客尖

廿年前(民國初頃)鴨渾兩江沿岸居住民により發明せられ客船として近距離の航行に適す

形態 長 平均約 三二尺
幅 同 六尺
深 同 二尺
積載量 約四〇支那石(七二日本石)

九、板

二十餘年前(民國初頃)鴨渾兩江居住民が創造せるものにして旅客及小荷物の運搬に用ひられ遠航は不可能であるが輕便な點から年々增加の傾向にある

形態 長さ 平均約二二尺
幅 平均約 六尺
深 平均約 二尺

東満

サラリーマン議員は 賴りないです
また空椅子が出來た

【吉林支局發】國際運輸吉林支店長宮本登氏は今回大連本社へ轉勤を命ぜられ、後任としては藤田稠夫氏が此程着任各方面を訪問して新任の挨拶をしたが宮本氏は猶當分吉林に滯在するとの事である、宮本氏にして愈よ吉林を去るとせば同氏は民會議員にして副會長を兼ねたる人なれば、氏の議員辭任は議員中に又も一名の空席を生じ、二月の民會改選後迄に三名の退去による辭任者ありて內一名のみが補欠され二名の空椅子の處へ又も一名を加ふることゝなる譯で、益々以てサラリーマン議員の賴りなさを暴露する次第である

鮮人聯合大會迫り 間島代表決定
各種提案も成る

【延吉支局發】來る五月三十日より五日間新京に於て開催せらるゝ第七回全滿朝鮮人聯合大會には間島省管內より延吉朝鮮人民會長孫宣龍氏及龍井朝鮮人民會長李庚在の兩氏が代表として出席することとなり、五月二十八日當地を出發したが、同大會に於ける間島希望意見は次の如くである

一、在滿朝鮮人の統治機關設置の件
一、在滿朝鮮人の改善の件
一、在滿朝鮮人の國籍問題
一、其他自治農創設金融機關の改善整備引下等の件であると

鮮農の移住 急激に增加す
吉林省永吉縣の諸狀

【吉林支局發】滿洲事變以來水田耕作を目的とする鮮農の滿洲移住に對する諸種の障碍は漸次に除かれて各地共鮮農の移住は日に月に增加の趨勢にあるが、就中吉林省永吉縣は

一、水田可耕地の多きこと
二、隨處に河川ありて水路溝渠に便利あること
三、風土の水稻に適すること
四、人口比較的稀薄にして土地を手に入れ易きこと
五、吉林省城に金融組合の設けありて種子肥料の購入、耕作資金、收穫物販賣等に便宜あること

等諸般の好條件に惠まれ居る關係上最近は移住者殺到の盛況を呈し當總領事館管內にてこゝ一ケ年間に一萬二千人からの增加を示してゐる、之等の鮮農は朝鮮、間島及南北滿各地より移住し來たもので統計的に見て人口五割耕地も亦五割の激增となつて居り、現在段當り十八圓余の利益と見られ、滿人農家の畑作が何れも赤字を示してゐるのに對比すれば格段の優位を保持してゐる

吉林國婦の 臺灣震災義捐金

【吉林支局發】國防婦人會吉林支部員は各自幾分宛かを醵出した台灣大震災に於ける罹災者への義捐金は二百二十圓天長節當日花賣を以て各有志に訴へ其の同情に依り得たる花代利益金三十圓並びに竹中作平氏より五十圓田村キク子さんよりの五月料理常盤通中より金二十六圓合計三百三十一圓の多額に達したので二十二日各會員を代表して三浦支部長の名儀を以て台灣總督中健藏氏宛送金した

家庭

生後一ケ年間の理想的の育兒法（五）

愛兒の爲にお勸めする 五ケ月目の取扱方

体重男（一貫七百五十六匁）女（一貫六百四十七匁）身長（二尺七分）頭圍（一尺三寸五分）胸圍（一尺三寸五分）

音響に深く注意し、物がしつかり握られるやうになる、座る事が出來者情がだんだんはつきりする

牛乳の呑せ方

温度は三十五度位、乳壜や乳首はその都度消毒し、乳首の吸穴は余り大きく明けず、一壜の牛乳を十五分位で呑み終る位を適當とす、飲ます時は必ず側に乳壜を持つてついてゐないと、乳首が口から外れたり、むせたりして大事に至る場合がありますからよく注意せねばなりません、牛乳の脂肪多きは下痢のもと、よく調べて與へて下さい

玩具

此の頃は未だ玩具を自分で持つ力無く、唯他人が動かし鳴したりするのを受動的に見たり聞いたりするのみですから風車の樣にグルグル廻る物を見せるとか風船の樣な物や、犬張子の類を糸で吊しておくとか、又日の丸の旗を立てて嬰兒の眼をたのしませつつ視覺の練習をさせます、又でん〱太鼓笛の樣な物をたゝいたり吹いたり聽覺の練習をさせます

病氣を知る法

言葉で話す事の出來ない嬰兒の病氣は注意しないと屢々手おくれになることがあります嬰兒が病氣か否かを知るにはその機嫌に氣をつけるより外はない、瞳に變りはないか、乳を呑む時の元氣の有無、別項泣く時の注意熱はないか、吐瀉はないか大便に異狀けないか等に、注意しなければならぬ

日傘によせて

女が日傘を持つてあるくのは女のたしなみだ、武器だ、日傘の蔭から人を睨むのは面白いことである、こつちの顔は隱せるし、向ふの顔は見へるし、だから日傘は離せない、それからよく考へてみると矢張り日傘を持つてゐる方が格恰も美しく見へるたとへばこんな橋を渡る時にしてもである、亂れたポーズもどうにか見られると云ふものである、それにしても今日はなんと云ふ身体のだるい日だらう、こんな少さな勾配がきつなに、格恰が良からうが惡からうが構ふことはないのである、少し勾配がきついようだけれどこの橋を渡ることにしよう、日傘かざして勇敢に渡ることにしよう

日傘を右手にもつてゐるのは男達ではない、勿論ナチスの向ふを張つてみた譯でもない、初夏の陽の光はきついから顔の色が黒くなることもある、さう、お化粧には地肌の色が大切である、だが、そんなことより

い…………（西公園より）

滿洲託兒所基金募集 大演藝大會の篤志出演者 ＝錚々たるその顔振れ＝

滿洲託兒所基金募集の大慈善演藝會は日滿各界の篤志出演により愈よ三十日と三十一日の兩夜新京記念公會堂で華々しく開會する、兩日のプログラムは既報の通りで、次の寫眞は出演者の一部である尺八の西田方山師、琴の中島幾子師、同大橋由子師、劇のサロン富士高田氏、琴の大橋左知子孃（寫眞上右より大橋左知子、大橋由子、高田、中島愛子、西田方山の諸氏）

假痘に就て（上）

滿洲チブスと間違ひ易い 天然痘の初期徴候

醫學博士 吉田秀雄

最近市内に

十數人の天然痘患者が一時に發生しました、朝鮮では既に六百餘人も冒され、奉天にも、發生して居ります、此の天然痘には未種痘者が罹る眞痘（天然痘）と種痘濟みの人が罹る假痘とが、ありまして、其の症狀經過等にも甚だしい差違があります、醫學の進歩して居る日本人では種痘が一般に勵行されてゐますので、眞痘は、極めて尠く假痘が多く之に反し滿人は眞痘が多い譯でありますそれで今は假痘に就て少しく述べませう

假痘の發病

狀態は眞痘に酷似して居ります、即ち惡寒戰慄が最初に起り、之に續いて眞痘よりも比較的輕三十九度乃至四十度の發熱があります、幼兒には屢々痙攣があり嘔吐や下痢を伴ふ事もあります、大人には頭痛腰痛肢痛等があります、熱は第三、四日目に一時下降しますが、此の時、本病特有の發疹が始まるのです

疹は薔薇疹

であり、麻疹樣であつたり、或は小豆大の紅斑を表はすのであもあります、發疹する場所は大腿上部の内側と上膊の三角に限つて好發致します、之を初期發疹と言ひまして、間もなく消退するのが通例ですが時としては二、三日消退しないこともあります、之に引續いて、淡紅色の小さい斑點が發生し、一、二日の後暗赤色となり、それから豆大の稍隆起した堅い結節に變つて來ます

初めは前額

顔面頭皮、上胴、膊、下肢、手掌足蹠に發生しますが、此の頃は痲疹に酷似して居ります、此の結節は第六日目頃から水泡を生じ、水泡は二三日の間に膿となります、此の時再び發熱致します

朗らか小父さん

1. ヤイッ犬！坊ヤヲ泣カセルトゾンナイシ承知勘
2. 早ク其犬ヲ何處カヘヤツテクレ
   マシタワ契約シ
   ツウト知ツタラ契約スルンデハナカツタ
3. ウマク騙シテヤツタ
   好ナカ争ヨ坊ヤ室イ青 見テツ行ヨ又 マセウネ
4. オヤオヤミンナ泣行イヤガル
   オカミサンノ嘘ツキ！

初夏に目立つ頸すぢの美

皺はかうして直しなさい

▽……手には最も年齡があらはれると誰方もおつしやいますが、頸も亦はつきりとその方の年齡を物語るものです

▲……しかし、お顔のマツサーヂは隨分よくなさる方も頸は忘れられ勝ちです、で頸の簡單なマツサーヂ法は

▲……コールド、クリームをすりこんだ上、掌で丸く圓を描きながら上から下へ、マツサーヂをしてゆきますお顔のマツサーヂの都度忘れずにこれを行つたら頸にみにくい皺をつくりません

名刺の始まりは石器時代から

未開時代には、言葉も完全に整つてゐませんでしたから、何か用があつて知らぬ人を訪ねることは、一つの冒險であつたもので、相手の心持が解らない中は氣味が惡いので、まづ石コロをおいて、遠くに離れて見てゐて、相手の人がそれを受取れば近づいても安心できました、今日用ゐてゐます名刺はこの石コロの進歩したものです

今日の献立

朝 △味噌汁＝今日はさや豌豆を入れませう △ひじき鹹煮＝ひじきは水に浸けて半日ほどおき、よく洗つて笊に上げ水氣を切つておき醬油だけで鹹く煮ます

晝 △燒豆腐の木の芽味噌＝燒豆腐をそのまゝ鍋に入れ、茹でこぼして煮出汁と酒と醬油で淡味に煮含めてから適宜に切り、皿に盛つて木の芽味噌をかけます、木の芽味噌は、味噌を擂り、砂糖で加減して、よく火を通し、木芽（山椒）を擂り合せます

晩 △飛魚照燒＝飛魚は三枚におろし、溜り醬油に二＝十分浸しておいてから、金網に載せ 浸け醬油をかけて燒き上げます △田芹胡麻和へ＝田芹は茹でて、よく水に晒し、五六分にざく〱切ります、白胡麻を炒つてよく擂り、醬油と砂糖をよく加へて芹を和へます

學藝

吉林の一瞥

和田郁夫

埃と馬糞の舞上る街は新京ばかりだらうと思つてゐたら滿洲の水都だは、京都だはといはれてゐる吉林の舗道にも新京と同じように埃と馬糞が舞ひ立つてゐた砂塵は足もとで舞ひ立つばかりではなく目や、鼻や、耳や、口の中にまでザラ／＼したものを感じさせるのである、初夏の陽を一杯にうけて乾燥し切つた一本の舗道の兩側には埃で白く汚れた街路樹があつて、ゴタ／＼と屋並のそろはぬ古びた家が並んでゐた、山の綠と水の色に抱かれた美しい吉林の夢は、初めて吉林の土を踏む私に幻滅の寂しさを竄しただけであつた

潤ひのない街には何處の街にも見受けられるように矢張り何んの變轍もない人通りがあつた、馬車に乘つて行く女達の一群があつてこれは多分何處かの料理屋の女達であらう、埃りよけの爲薄いヴエールを被つてゐて、馬車の上から歩いてゐる私に向つて鋭い一瞥をくれるのであつた、私は反應的に見返してやつたが女達の顔はヴエールに隱れてどれも見ることが出來なかつた、私のザラ／＼した感傷に嫌な印象が刻まれると女と云ふものの心情をにくらしいものと思はねばならなかつたのである、ヴエールを透して見る方はいゝだらうが、見られる方の氣持は相手の顔が見返せないばかりでなく、ヴエールを透して試みられるであらう批評への反撥が、速座にしかへし出來ないもどかしさに女達のそんなやり方を卑怯だと憎みたいのである、女達は女達の本能でちの裡に私の全ての缺陷をみてとる事であらう

私が片輪か何かであつたら私はこの女達を追つかけて毆りつけてやつたことだらう、ヴエールを透して見へる女の顔は美しくみへるけれど、あの女達の顔が美しくなくてあざもあつてくれればいゝと思ふ、初めて見る女達からこんな嫌な思ひを强ひられなければならなかつたことを苦々しく思ひながら、松花江の見へる城内の紅卍字の邊りまで來てみると、松花江の水は上流の何處かで雨でも降つたのか濁つた不汚な色で流れてゐて、ザラ／＼と不快な私の思念になんの感興をも呼び起させなかつた

日本歴史の側面觀(二)

光岡慈昭

一、楠氏のことども

青葉繁れる櫻井の唱歌は幼なかる頃、胸とどろかし口を揃いて歌つたものであるが、六百年祭のいとなまれるに當つてまたしても深く腦裡に往來して來る、幾多の勤王の人々のことが走馬燈の如く轉回して來る、正史の傳ふところはよく人々の知るところであるけれども日本歴史の裏面史といふか、側面觀といふものがそうした方面をながめてゆくと一入興味深きものがあるその建武の頃以來、古く日本に歌はれた民謠に、風趣のあるものが、二つあるその一は坊主あたまにキンカンのせてのるかのらんかのせてみろといふうたがある今一つは二度とゆくまい丹後の宮津縞の財布がからとなる、丹後の宮津でピンを出したの二つである

平凡に詠ひ、讀んでみると大したことはない、然し歌そのものも一つの時代の背景が生んだものとすれば興趣津々たるものがある譯で、坊主頭にキンカンのせてと、そこらの宴會などに歌れたものは、幼ない頃から靑年の頃までは歴史としての知識の乏しかつた自分にとつて一つは異樣に嫌なものだつた、然しこの頃はなんともなくなつた無髪の坊主頭に圓形の植物のキンカンを乘せることは物理的に考へて頗る困難なことであるといふ常識的の知識ばかりでなく、歴史的に考へて畏れ多い感じがして來て、胸がスツトして來てゐる、南朝北朝の平和工作が出來て後小松天皇か即位になつて南朝の皇族がたは世をしのんで御出家遊ばされた、尊氏共一味の不頼漢が南朝の御皇族の御出家遊ばされたるに關しての諷刺である、一度、南朝利あらずして世を捨て出家と云ふとも金冠のるやのらずや乘せてみろのことゝして、古くから唄ひならされた歌と分つて見れば、知らずに歌つてゐるその歌詞はも植物のキンカンでなく王位を象徴する金冠であつたのである、總じて人間は錯覺を持つものだといふことは必ずしも物理學若しくは心理學上ばかりではない、かうした考へも一種の錯覺の部類に屬する、殊に日本人にはこの錯覺が夥しい、物理の教育にも地理の教育にも歴史の教育にもこの錯覺が著しく存在するがうしたとを考へるとき如何なる教育をも、愼重しなければならぬことに氣づくことであらう、誰れでも佛教歴史といへば印度の佛教史が終つてから支那の佛教史次に日本佛教史となる樣な變な錯覺を持つてゐる樣になる、したがつて印度の佛教がそのまゝ支那の佛教支那の佛教がそのまゝ日本佛教の全部の樣に考へる、こうしたことは印度と支那、支那と日本との交渉に明瞭をかくからである

爆撃機

松平晃、滿洲を好しと言へり

流行歌手の松平晃、「滿洲つて所いいですねえ」と言つたです、彼釜山から一直線に新京まで來て新京に降りるや自ら馬車を驅つて滿人服を買ひに行つたその心掛けはいいぢやないか。（獨唱會に行つた人はあの似合つた滿人姿を見てうなづいたでせう）、ところでぼくが言ひたい／＼は先生たちが實に滿洲のことを知らないことなんだ滿洲を知りもせずに滿洲を題材にした歌をうたつたつて一体、感じが出るかと言ふんだ。松平君如きハルビンのエロの話などをきくや「ハルビンつて今夜一寸行つて直ぐ歸つて來ること出來ませんか」なんて言ふ始末であるこれぢや困るよ話にならんよ

大体ぼくは「酌むは眞つ赤た高粱酒」なんて、およそナンセンスの最たるものだと攻撃するんだ、これは松平君にはつきりと教へてをいた。しかし松平君は可愛いい男だよ、一寸頤賊につかまつて見たいと言ふたからね、いいとこある。（三不管）

◇雜草俳句會句抄◇

春の野や工場の塵の捨場より
つばくらめ苗代撫でゝ一文字
蒲公英の地に匐ひて咲く荒土かな
春の野の中に帝都の延びにけり
つばくらめ舊家の翁老先ひにけり
牌樓をひらめきかへすつばめかな
帆を下す港の舟や夕燕
城門の赤き入日や群燕
春の野の鐘小さう鳴る夕べかな
たんぽぽや利根の流れに舟一つ
蒲公英や乾ききつたる土の色
春の野に寢起の子供負ひけり
寐ねし子に風輕う吹く春野かな
春の野にレコードかけて踊りけり

南風　同　同　同　晩夏　同　同　杉花　同　勝司　同　安騷　鶴人

映畫評

羅馬太平記（ユナイト）

人生は笑つて暮すべきである、火山が爆發するのはこれ山が世間に對して笑ふからである、エデイは拷問されても「地震のように」ゲタ／＼笑ふ、之はエデイが馬鹿正直だからではない古代ローマは勿論、近代社會をも笑殺してかゝるからである、世の中の詐欺や虛構は古代ローマから二十世紀現代にまで綿々として絶える事がない、正直もののエデイの幻想がそれを證明する、現代から追放を喰ひ、古代からも追放を喰つたートタンに幻想が破れてエデイの正直が遂に勝利を博するに至つた、世の中の事柄は皆面白いーかなり高い所を狙つた諷刺も含んだ、高級な寫劇映畫である、ダイアローグのもつシャレがまづ觀者を笑殺して、たくみな喜劇的演出の連續がこよなき苦笑の愉樂を現出してくれる、構成も大体において嫌味のない整然たるものを見せ、とにも角にも終始愉しませてくれる良き一篇である（江來闢）

暴君ネロ（パラマウント）

巨匠の稱號をもつて冠せられるセシル、B、デミルは成程大きなものを持つてはおります、であればこそ、かゝる絢爛豪華なるスペクタクル映畫を、こともなげに手玉にとり得るのではありまするが悲しむべきことにこれは愚かしき凡作でありました、暴君ネロの馬鹿さ加減も、愛と信仰の偉大さも、目もくらむばかりの賑々しき色彩ゆえに核心に觸れ得ずして、堂々廻りの手間ぬるさと、あたら彷徨の慘狀とを喫して了つたのであります（N生）

防空講座

毒瓦斯とその防護に就て

—第十二講—

空襲と化學戰

近代戰の特色からして一朝有事の際重要都市が唯一の空襲目標であることは餘りに明白である、しかも空襲の主體をなすものは爆撃機であり、畢竟都市の防空は爆撃を中心とした問題である、實に人智の進歩は日月を爭ひ今日の化學は明日の化學戰に具へる爲のものである、投下爆彈の種類は次に示す如く複雜多樣であり夫々對應の處置を講ずるにあらざれば其の慘狀は名狀すべからざるものがあらう、なほ將來戰に於ては防護の困難と複雜さを圖る爲め各種各樣の爆彈を併用するものと思はなければならぬ

その中でも防護の厄介な毒瓦斯に就て逐次述べることにする

投下爆彈の種類

- イ、破壞用爆彈
- ロ、燒夷彈
- ハ、發煙彈
- ニ、照明彈
- ホ、細菌彈
- ヘ、毒瓦斯彈

一八九九年の海牙條約は人道上の見地から毒物の使用を禁止した、けれども歐洲大戰には毒瓦斯の使用は到底之れを防止することは出來なかつた、即ち一九一五年春獨軍が初めて毒瓦斯を使用したるを以て嚆矢とす、次いで一九二二年ワシントン會議では米國は政治的掛引から海牙條約の尊重を五大强國に協定した、一九二五年ワシントン會議の際再び禁止の條約が調印さることになつたがまだ締盟國全部の批准を終了して居ない、一昨々年の軍縮會議では又々禁止の議があつたが米國は催淚性瓦斯の使用に對しては頑强に反對し、盛に將來の化學戰準備の爲大規模の施設をして居る、また英國はワシントン會議の協定以外の國が若し戰に參加した場合にはその效果も疑はしく尙ボールドウイン氏は下院に於て將來の戰に毒瓦斯を使用するのは當然であると言明してゐる、尤も戰爭を否定せぬ限りはその手段のみに制限を加へるといふことは笑止な話である、また蘇聯は最近化學戰準備の絕對的必要を認めて非常な努力を以て各般の施設を行ないあるのである、其の他各國共に毒瓦斯の研究及び施設を秘密裡に促進の歩を辿つてゐる現況である

斯くの如く國際協約には毒瓦斯禁止は有效た如く見えても其實一つとして成立しないしかも瓦斯は極めて經濟的軍備であることは一般の認むるところであつてこの研究準備を禁止しようとしても平時工業によつて現在製造されつゝある種々な瓦斯の生産を阻止することは化學研究の本質と平時工業の關係から見ても到底不可能なことである、これ等の瓦斯は他の生産物の媒介物であるとか副産物であるとか稱して研究を斷念することは恐らくあるまい、將來毒瓦斯は飛行機と共に現在より更に偉大な效果を發揮し國家國民の全智全能を擧げて大々的に使用されるものと思はねばならぬ此時若國民に毒瓦斯の智識なく對應の處置を誤るが如きことがあれば慘狀眼をそむかしめるものを招來しよう

結核療養上 特に必要な榮養食

榮養過多から來る障害も かうすれば容易に防げる

脂肪は、蛋白質、含水炭素、無機鹽類と共に、四大榮養素と稱せられ、體内に沈着して、内臟の器官を保護し、體溫を保つ、重要な役目を持つものであります。

同時に脂肪は、熱源としても、含水炭素や蛋白質の約二倍半のカロリーを出しますから

日本人の如く

比較的體格の小さな人種は、米の如き含水炭素主成分の食物を多量に攝つて、胃腸に過重の負擔を與へるよりも、その一部を脂肪を以て代用せしめる方が、榮養上より見て利益があるわけです。

殊に結核患者の如く、榮養を最も多く要するに拘らず、胃腸機能の衰弱し勝ちなものにとつては、脂肪利用の必要は、一層痛感されるわけで、事實結核療養所中には、優秀なる脂肪を多量に配合せる榮養食を與へて、良好な治療成績を擧げてゐる所が少くないのです。

尤も脂肪の量の、多きに過ぎる時は、アセトン體と稱する有害物を生じ、ひいては胃痛、肝硬變、動脈硬化等の障碍を起す危險があるから、全食品中の二〇%乃至二五%以上は

禁ずべしとする

說もありますが、最近はまた「ヘーフエ菌劑を併用すれば、脂肪の割合を六〇乃至七〇%とするも、惡影響を見ないといふ事が、動物實驗によつて證明されました。

ある結核病理學者の研究によれば、結核患者の血液中に、リパーゼを多く含む時は、病勢減退して治癒に向つてゐる時であり、此に反してリパーゼの量少き時は、病勢增惡してゐる時だといふ事であります。リパーゼは云ふ迄もなく、脂肪代謝酵素であり、これが多いといふ事は、體内において脂肪が十分に利用される可能性を示してをります。

(ヘーフエ菌劑若素(わかもと)は、このリパーゼを多く含むものでありまして、脂肪利用の可能性を增すといふ事は明かでありますが、同時にこのリパーゼは、結核菌の被膜たる、リポイド質を溶解して、病菌の勢力を挫く作用をも有するのであります。なほ

一層好都合なこと

には若素(わかもと)には、十數種の活性酵素をはじめ、アミノ酸、グリコーゲン、カルシウム等の貴重なる榮養素、ビタミンA・B・D等を綜合的に含有してをり、消化吸收、新陳代謝の機能を、著るしく活潑にする作用がありますので、療養上多大の効果を期待する事が出來ます。

結核と精神の安靜

精神の安靜は、結核療養上、肉體の安靜にもまして必要でありますが、結核患者は大抵、神經過敏となつて、精神常に動搖し、不眠に惱まされ、神經衰弱を併發して、その爲に病勢を增惡する傾きがありますが、これに對して、臭素劑の如きもので神經を鎭靜させたり、催眠劑で安眠を求めたりするのは、習慣性を來し易い許りでなく、これらの藥品の連用は、榮養を衰へさせ、却つて病勢の惡化を助長する危險さへあります。

こんな場合に若素(わかもと)を與へますと、腦神經の榮養となるヌクレインや、レチチンを含んでゐる許りでなく、神經の疲勞を休めるビタミンにも富み生理的の安眠を促す作用がありますから、何等の副作用なくして、精神の安靜を求めることが出來るわけであります。

青葉時に多い 喀血の正しい手當

青葉若葉の繁る頃は、一年中で、最も喀血の多い時季でありまして、しかもそれが肺結核を自覺してゐる患者に限らないのですから、突發的に來て本人は勿論、周圍の人まで甚だしく恐怖狼狽させます。

喀血は氣管支の病氣、肺臟ヂストマ、肺水腫、肺黴毒等にも來ることがあり、時には胃の吐血や、鼻出血、咽頭の粘膜出血等を喀血と誤認することもありますが、他に格別の病氣なくして急に血を吐くのは、大抵肺結核であつて、肺結核患者中の八割は、喀血の經驗を持つといはれます。

喀血は勿論、決して好ましい病狀ではありませんがこれが、決して、病狀の進行度を示すものでもなく、またこのために命を失ふといふ樣なことは、殆どないのでありますから、喀血が起つた場合も決して狼狽せず、患者を空氣の流通のいゝ室に安臥させ、衣服を緩げ、下半身を緩め、心臟部に氷嚢を當て、止血を計るために濃い食鹽水を飲ませます。

勿論絕對安靜を守らせ、暫らくは物をいふことを禁じなくてはなりません。それでも

出血量が多くて、容易に止まらぬ時は、速かに醫師の來診を求めると共に、腕や腿を固く縛つて血液の流通を妨げ、後次第に緩める樣にします。

獨逸のサナトリアムの報告によれば、第三期患者の三割、第二期患者の七割、初期患者は百人中九十七八人まで全治し、殊に喀血を以て始まつた患者は、他の發熱、胃腸障碍等を以て始まつた患者に比して、療養成績が良いといはれますから、喀血しても心配なく、初期において正しく療養をする事が必要です。

サナトリアムは、結核療養の本道といはれますが、歐米の如く設備の比較的整つてゐる所においてすら、全部の患者を、サナトリアムに收容することは出來ないのですから、日本などでは、殆ど全部の患者が、家庭において

日當りの良い、開放された室を選んで安臥し、醫師の指圖に從つて、適當の運動と、榮養に富む食餌をとつて、療養しなくてはなりません。

この場合家庭療養の、足らぬを補ふ意味で、純良なヘーフエ菌劑若素(わかもと)を用ふることは、最も効果的であります。安靜と榮養とは、結核療養の二大眼目でありますが、安靜に伴ふ必然の結果として、食慾が衰へることを免れ難いので、一に「食慾素」と呼ばれる程、有力な食慾增進作用を有する、ヘーフエ菌劑を用ふることは、非常に有效なのです。

若素(わかもと)には、これは食慾增進の作用のみならず、優秀な榮養劑として定評がありますが、殊に最近結核療養上、非常に有效なことを認められて來た、ビタミンB複合體の多い點において、あらゆる榮養劑中異色あるものであります。

若素(わかもと)を服用し始めると、患者は發熱、盜汗、咳嗽、血痰等の症狀が減退し、體力充實の著るしさを感ずるのが普通でありますが、これは右の如き作用から來る當然の歸結でありませう。

若素(わかもと)は廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓の廉價で、東京芝公園大門際、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から頒布され、各藥店にありますが、有名藥の例に漏れず、類似藥が多く現れ、利益のみ追ふ藥店中には、口錢の多い他藥をすゝめる向もある樣ですが、若素(わかもと)は、ヘーフエ菌中でも、醫藥的價値の最も多い菌種に、專賣特許の製劑工程を加へたもので、他の小規模の工場では決して模倣出來ないものですから、十分御注意を願ひます。

療養體驗 血便と激痛の 腸結核から

島根 小田秀雄

(前略)私は不幸にして、腸結核を併發して苦しんだものであります。昭和七年の正月早々、今年は胸の方も良い樣だなど、調子に乘つて、お雜煮を過ごしたのが因で、夥しい血便を出したのが、腸結核認識の第一步でした。

所因は雜煮ですが、よく考へて見れば、來客の際など、熱を出すのがきまり惡くて、心なくものみ下したり、自分の腹工合も考へずに、肝油を飲み過ぎた事などが祟つたらしい、それからといふもの、一晝夜何回となく、音立てゝ下る血便と、腹部の鈍痛に晝夜苦しみ續けること一ケ月。(中略)消化不良は全くお話にならず、卵黃なども食べたまゝ排出して終ふのです。ですから、衰弱も甚だしく、骨と皮との見るも情ない姿(中略)

一ケ月で血便だけは止みましたが、あの特長ある臭と、泥狀便や結核便は中々止みませんでした。

(中略)これを服んで見てはと「錠劑わかもと」を父がすゝめてくれましたのはこの時でした。この錠劑わかもとを知らせて下さつたのは、近所のお寺の奧さんですが、(中略)期待などは少しもなく、父母の氣安めに服んでゐたのです。所が一瓶目を終る頃、いつの間にか、水瀉下痢が、三日に一度は軟便になつてゐるのに氣がつきました。効くのかなと、半疑ひ半喜びながら、大瓶を買ひこんで服用を續けました所、腹部の硬結は解消し、食慾は動いて來て、よく嚙みさへすれば、大抵の物は食べても障りなくなり、夏の暑さにも閉口せず、九月に入つては、めきめき肥つて、みなを驚かせましたけれ共、決して心をゆるめず、(中略)翌八年も引續き服用を續け、(中略)翌九年には[illegible]すつかり忘れて(中略)

當局者も面喰ふ 改築命令の響き

すでに三百戸の許可申請 表通りの改築續出

新京地方事務所に建築許可を願出るもの、昨年の今頃は僅か十數件に止まつたが本年は既に約百件に近く土地係でも面喰つてゐる、既に舊附屬地内では無規貸付をなすべき空地が見當らないにも拘らずかうした新築の續出は例の主要道路の改築命令が響いた結果と見られ、その多數は表通りに面した二階建の改築である改築命令は本年始め約六百件に發せられたから、今後なほぞく／＼改築許可申込みあるべく、地方事務所では更に危險家屋三十八件に對しても最近至急改築方を指令した、本年中には主要道路の大多數は平家から二階建に變更され面目を一新するであらうと見られてゐる、右につき當局者は語る

一件平均三戸の見込だから既に三百戸ばかり改築に着手したことになり、吾々に取つても全く意外で、これがため土地係員總動員で目の廻る忙しさだ、實際今頃までも改築せずに置いたのはどうかと思ふところで、市街美といふ様なことは客觀的のもので本人に取つては格別大した關心を持たぬにしても現在改築するとあらば養命關係もうまくゆくであらうし、竣工後の利用價値もこゝ二、三年は大丈夫一日早くば早いだけ目に見えた利得が浮んで來る、各方面が此際と思つて改築を急ぐのは當然で誠に結構なことゝ思ふ

故東郷元帥 一周記念祭典

軍國日本の海の提督東郷元帥神去りてこゝに一周年、三十日は恰度記念日に相當し全國津々浦々で盛んな一周記念祭典催し物などが行はれるが新京では時局後援會、在郷軍人會聯合分會、海勇會長友會共同主催のもとに午前十時から西公園海軍記念碑前で約一時間に亙つて祭典を行ふ式次は祓式、降神式、獻饌、祭詞奏上、玉串奉奠（齋主、主催者代表、關東軍代表、駐滿海軍部代表 官民代表、の順）撤饌、昇神式退場なほ雨天の際は新京神社で行はれるから市民は奮つて參列されたい

商業學校に於ける 在留民徴兵檢査

＝六月一日より十三日迄 施行の管内や日割決定＝

昭和十年度關東軍統轄在留民徴兵身体檢査の新京商業學校で施行の分は愈よ來る六月一日から十三日迄左の日割で開始される

△六月一日より六日迄新京着管内
△六日より十日迄新京總領事館内
△同十一日范家屯、鄭家屯、公主嶺各署管内
△同十二日四平街署管内
△同十三日吉林ならびに敦化領事館管内

延人員千百七十六名、右は孰れも受檢日には檢査開始定刻午前八時より三十分前に參集することゝなつてゐる

變造紙幣發見

新京驛三等出札口で二十七日午後八時三十分ごろ一滿人旅客が奉天ゆき乘車券を十圓紙幣で買ひ求めたが同係員藤森美花嬢（二一）は同紙幣が日本銀行發行の一圓紙幣を拾圓紙幣に變造したものであるのを發見驛詰警官に屆出でた、なほ屢々出札係員が發見するこの種變造紙幣は殆ど日本銀行發行の一圓紙幣を十圓紙幣に變造したものである

中銀の防空獻金 昨日手交す

二十八日中銀清水庶務課長は防空協會に至り防空施設費として中銀よりの寄附新京本部へ五萬圓各地支部へ五萬圓合計十萬圓の防空獻金を手交した、協會では中銀の意向に副ひ全滿各地の防空施設のために協會各地支部に振當てる筈である

やれ嬉しや ～フェリシタ～ 結婚します

【東京國通】國際愛の破局から昨年十一月中野秀人と離婚した南歐の佳人フェリシタさんはまだ半年も經たぬのに再婚話が持上り既にエンゲーヂリングの交換を濟まし世人をアッと云はせてゐる、第二の夫なる人は米國某商事會社東京支店勤務のウィリアム・スミス君（假名三二）で世評を避ける爲此九月頃愛兒カルメンさんを連れて別々に上海に赴き同地で正式に結婚式を擧げ國際都市で約半ヶ年暮し相携へて夫君の國アメリカに旅立つと、此噂にフェリシタさんを訪へば朗かに語る

何事もカルメンの幸福の爲です、夫と別れた私―女の生きて行くことは本當に辛い事で考へさせられます、來年の今頃は私は夫とカルメンと一諸にアメリカに居ることでせう

一跨ぎに來た炎熱 白光漲る夏風景

きのふ八六・九度の暑さ

春とは名ばかり、北滿の季節の變遷は休止符を持たない、瞬時の急テンポで早や飛けだ、多から夏へ一西公園や舗道の**並木**に、萠え出た若葉の色どりを愉んだのも束の間還り變る白光は北滿獨特の澄空に映えてギラ／＼と會輝なき夏日の猛暑を威示する、雨上りの快晴に續いてこの二三日の氣溫は急速に上昇の度を示しつゝあつたが、二十八日朝來の高**氣溫は**陽の動きと共に俄然上昇の度を增し、水銀柱はぐん／＼伸びて午後三時に到ると遂に本年の最高氣溫華氏卅、五度（攝子九六、九度）を點示して眞夏到來の宣告を下した、人も家も街も空も、夏の**白光**にもえ立ち、アスファルトの舗道には轍立の後すら見えて、人の動きものうい……測候所の打診によると

大体もうこれ位の暑さになる順序です、昨年と比べてみても大した相違もないようです、昨年の五月の最高レコードは十六日の華氏三〇、九度ですから嚴密に言へば昨年の方が早く暑くなつた譯で、平均氣溫も例年通り華氏一六―七度前後を記録してゐますから恐れる程のことはないです、氣壓の配置も揚子江から黄海方面に渡つて高氣壓、そして大陸には低氣壓と云つた夏の狀態にあり、六月、七月と、もう暑くなるだけです、南寄りの風が暑熱を運んで來るでせう

滿洲國の建國も 觀音様の御力

ひよつこり現はれた お鯉物語の女主人公

「お鯉物語」の主人公お鯉さんこと安藤照（五七）さんが飄然と滿洲へやつて來た―昨春赤坂の待合「鯉住」の女將として小山法相をめぐる僞證事件に起訴され未決に二ケ月半を送つたお鯉さんは、女だてらに身の明りを立てるため控訴中であるが、執行猶豫の身体をヒヨツコリと**營口**にゐるもと支那公使館朱書記官の未亡人朱玉正さんを訪ねる途中二十七日來京したもので、富士屋旅館に訪ねると黒い縦縞のお召しに束髪姿のお鯉さんは「お待たせしました」と愛想よく現れた、面長のすつきりした美しい顔立が年よりも十五も若く見せて、さすがに桂公の愛妾時代を偲ばさせてゐる、お鯉さんは語る

前から一度滿洲へ來る積りでしたがいろ／＼とごた／＼事件があつたものですから、つい延び／＼となつてしまひました、僞證事件はいま控訴中ですがあくまで身の明りを立てるため突破るつもりです、こん度滿洲へ來ました用件は昔お世話した支那公使館の故朱書記官の未亡人朱玉正さんが是非一度お目にかゝりたいといつて來ましたものですからお會ひするために來たのです、その方は營口にゐらつしやいますがこん度が初對面です、何か身の振り方について御相談でもあるのでせう

と言葉すくなく語つた、朝鮮滿洲を御覧になつた御感想はと問へば

窓からみた朝鮮は美しいと思ひました、今ごろ朝鮮がこんなに立派になつたのは桂さんの日韓合併のお蔭のやうに思へてなりません、何だか自分ごとの様に感じられます

奉天 で日露戰役の古戰場をみましてもあの頃のことが思ひ出されます

桂公のことを想ひ出したお鯉さんの瞳は感慨がこもつてゐる

日露戰爭の時は私も桂公のお伽について居りましたがあの頃の桂公は全くお忙しい身体でした、戰況を報せる電報が來ると眞夜中でも宮中に參上してそれを奏上する、參謀本部との打合せだとか、毎日のやうにある外國人の宴會に出席するなど一時間もヂッとしてゐる暇はありませんでした、桂公はその頃胃を痛めてゐてしまひましたが「戰地にゐれば藥などはのめないから止める」といつて藥を召上らないで國のために働いて居りましたが、傍で私は涙をながして御介抱しました

信者 で二十數年來觀音様と一緒に暮したほどの人、東京の大井のお鯉さんは有名な觀音様の信者、自宅には昨年の暮一寸八分の黄金佛を建立してその家を清澄庵と呼んで自分は桂月院安昆明照禪尼と名づけてゐる、お鯉さんが佛教に歸依する緣になつた動機は何でも二十六年前に植木屋から買つた盆栽から元久元年三月十五日に造られたといふ七百二十三年前の觀音様が出て來たことから始まつてゐるさうだ、それから故森田悟由、新井石禪兩禪師に**師事**して、毎日曜には七、八人の信者を伴つて東京の下町を歩き貧者に觀音様を祠つてやつたりして余世を静かに送つてゐた

觀音様とは働く人のことをいひます、働いてゆくことそのものが觀音様です、滿洲國の建國なども觀音様のお力だと信じてゐます

今ではお鯉さんは心からの禪尼らしい

一度歸國してこん度は新京に小さいお寺でも建て、觀音様を祠りたいと思つてゐますと語つた（寫眞は富士屋旅館に納つたお鯉さんとその筆蹟）

聯合防護團のガス救護訓練

來月六日、八日開催さる

新京聯合防護團主催のガス救護の専門的訓練演習は關東軍飛行隊司令部副山軍醫正指導のもとに附屬地方面は來月六日、公學校々庭で特別市方面は來月八日新京公園で開催される故、醫師、警察衞生關係者は勿論防毒班の幹部、國防婦人會員、國防婦女會員、その他一般市民、各學校上級生など演習參加又は見學をされたいと

寄附 新京滿鐵病院歯科勤務鹿野八千代さんは二十八日が子女の命日に當り同日西廣場小學校父兄會に圖書費として金十圓を寄附した

女子部も加へ 第三回排球選手權大會

＝申込は六月十日まで＝

本社主催第三回新京バレーボール選手權大會は來る六月十六日午前九時から新京高等女學校々庭で擧行することになつた本年は特に女子の休育增進をはかるため同日女子第一回バレーボール選手權大會を擧行する、出場資格者は新京在住者男女、民族の如何を問はず、出場參加者は所屬團体名で本社事業部並に滿鐵地方事務所社會係へ六月十日までに申込まれたい

滿洲託兒所の大慈善演藝會

愈よ明日から二日間開く

あはれなる孤兒を引取つて育み、或は働かんにも手足まとひになる幼兒を預り後顧の憂ひなく生活の途をたてるやうにとの趣旨で出來てゐる滿洲託兒所の事業は經營者理事小林太三郎氏の獻身的努力により逐年發達を遂げつゝあるが經費は篤志家の醵金に俟つほか、時々慈善演藝會などを催し、その純益をこれに充てつゝあり、今年も、愈よ明三十日と三十一日の兩夜新京記念公會堂で日滿各界の篤志出演による大慈善演藝會が開催されるが、琴尺八、黎明兒童舞踊會の童謠舞踊、ダイヤ街花街の舞踊、滿洲歌妓の歌謠、カフェーの主人その他の舊劇などいろとり／＼豪華なプログラムは既報の通り眼先きを替へて排列してある、入場料は一圓二十錢各所で前賣してゐる切符は一圓に割引されることゝなつてゐる

滿日小爲替增設

交通部は來る六月一日より左の郵局に於て滿日小爲替の取扱を開始することゝなつた

▲奉天郵政管理局管内（開營林西、海龍、東豐、淸源、葉柏壽）
▲哈爾濱郵政管理局管内（齊々哈爾東站、博克圖）

滿鐵社員の新五訓

滿鐵々道部では全鐵道マンの精神修養に資するため新に鐵道五訓を定めたが左の通りである

一、至誠奉公
一、協力一致
一、規律嚴守
一、研究錬磨
一、質實剛健

室町校で書方講習 市内訓導が受講

室町小學校では二十九、三十兩日に亘り目下來京中の東京書道藝術社主幹上田桑鳩氏を聘し書方講習をなすが時間は毎日午後三時より五時までゞ市内各學校訓導が受講することになつてゐる

室町兒童の防空映畫觀覽

室町小學校五年生以上の兒童は二十八日午後一時より公會堂にて防空映畫を觀た

谷駐滿大使館參事官近來ますます光を增しまづ新京光頭會でも設立されやうものなら大賑は外れそうもない▲參事官近ごろ滿洲國のことを話すに「この國の治外法權撤廢は」…「この國は面積廣く人口少く」…「この國の建國の歷史を辿るならば」…と、これが所謂外交官の[illegible]ずから[illegible]たもの[illegible]なく光[illegible]も親しみを感ずる…とはある宴席での話

訂正 （二十七日朝刊七面「國都の警察人を語る」記事中柴田氏及び三藤二警部とあるは柴田三藤二警部の誤植につき訂正）

女人婆羅門

（百五十一）

（禁上演映畫化）　長田秀雄　西正世志畫

孤島の鬼（一）

小田原海岸で、梯子を奪つて小船で沖合に漕ぎ出した滝壺四郎は、お藤を顧みて、

「おい、お藤、梯子が身投げしねえやうに確かりと見張つて居るんだぞ」

「大丈夫とも、そんなヘマをやらかすものかね」

早櫓で漕ぎながら、

「もう大分來たらうね」

「まだ〳〵平塚の庵ケ原は遙か向ふだ、確かりと漕いどくれよ」

「どうもこんな闇夜ぢや、薩張り見當がつかねえ。ドブ闇ぢやねえか」

「まつたく薄氣味の惡いドブ闇だ。四郎さん、早く庵ケ原へ着けてお呉れよ」

「庵ケ原までは、一眠りするくらゐあらア――おや？」

急に木の葉のやうに小船がくる〳〵と廻り出した。

「渦巻だつ！」

「あれつ！」

と、滝壺四郎とお藤の二人は、大聲を振り擧げた。毛布でくるまれ、猿轡を嵌められた梯子も、恐怖の呻き聲を放つた。

「お藤つ――大丈夫かつ」

「あれつ、滝壺さあん」

お藤は、滝壺に取縋らうと、よろ〳〵して立ち上ると、滝壺も、お藤の手を掴んで、起き上らうとした。その途端、闇の海原が急に茫と明るくなつて、お藤と滝壺の目に、諏訪ケ嶽山中の山懸で絞殺した、矢坂玄六郎の物凄い顔が、浮彫のやうに浮び上つた。

「あつ！」

と、二人は竦んだ。その矢坂玄六郎の物凄い形相が掻き消えると、東西何れとも分らない方角から、物凄い暴風が、颯と吹き起つて、奈落へ墜落するやうに、咄嗟の間に、一町ほど、小船は流された。それと同時に、お藤の眼に、梯子のゐた茶屋前で不意に呼び留めた清水御之助の姿が、朦朧として現はれて、

（おのれ、仇敵ッ！）

と、横ざまに太刀を振つた。その意氣込に驚いて、お藤は、さつと身をかはすと、艫の邊を強たか打たれたやうに感じて、

「あつ！」

と、船板の上に倒れた。その機みを食つて、滝壺も、櫓の上にどつと倒れて、腰を強たか打つたやうだつた。

「うーむ」

と、呻くと、お藤は漸々起き上つた。

「滝壺、確かりして」

滝壺が起き上ると、暴風は俄にやんで、波は平穏になつた。二人は、慮顚として、顔を見合せた。

海の向ふに、漁火に混つて千鳥の啼く音が、ちろ〳〵と聞えた。生汗をびつしり掻いた滝壺は、まだ戦きながら、

「あれを見たか」

「矢坂の怨霊か――ふゝん、文明開化の時節に怨霊があつて堪るものかね」

「あ痛々――腰板の邊を何かで、ツバリとやられたやうに痛い、お前、何ともないのか」

「妾も、ツンと腰の邊をやられたやうだ」

お藤はゾツとしながら、闇の大空を見上げた。そして持前の負けず氣性で、

（妄想だ、）

と、思つた。

その時梯子は、猿轡をやう〳〵ずり落して、泣かんばかりに、

「母さん、助けて！」

お藤は、優しさうな作り聲をして、

「梯子や、手荒な事をして濟まなかつたね、ほんとに勘忍しておくれね、これから母さんの傍にゐて、一緒に暮すんだよ」

「おい、お藤――いまの暴風で、庵ケ原へ却つて近づいたやうだ」

人家の灯影がちら〳〵と瞬いて、ほんの小半丁先に庵ケ原が見える。